

計画段階評価について
山陰道（おおい大井～はぎ萩）
意見聴取結果（第１回）

平成２９年８月２２日

国土交通省 中国地方整備局

目次

1. 意見聴取の概要	・ ・ ・ 2
2. アンケート調査結果	・ ・ ・ 6
3. アンケートクロス集計結果	・ ・ ・ 13

1. 意見聴取の概要

1. 意見聴取の概要

大井～萩 (第1回)

- 回収率向上に向けて、自治体や観光地等における道路利用者アンケートの常設や道の駅や観光地でのヒアリング調査を実施。
- 山陰道アンケート調査ポータルサイトを作成し、インターネットによるアンケートの調査も実施。

■道の駅等での道路利用者アンケート票の常設



▲道の駅萩しーまーと

■道の駅や中学校でのヒアリング調査



▲道の駅ゆとりパークたまがわ

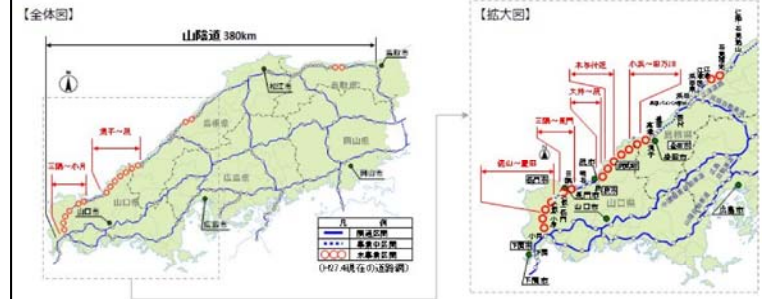
■アンケート調査ポータルサイトの作成



ポータルサイト

山陰道の計画に関するアンケート調査

山陰道は、鳥取県鳥取市から島根県を経由し山口県下関市に至る380kmの高規格幹線道路です。これまで順次整備が進められており、平成27年4月には須子～萩間及び三隅～小月間のうち、優先整備区間として、「大井～萩」、「木与付近」、「小浜～田万川」、「三隅～長門」、「横山～豊田」を選定したところです。アンケート調査は山陰道を計画するにあたり、皆さまに役立つ道路とするため、皆さまにご意見を伺うものですので、ご協力いただきますようお願いいたします。



アンケート調査

横山～豊田 第1回アンケート (アンケート期間: H27年9月14日～10月16日まで) 【調査は終了しました。】

大井～萩 第1回アンケート (アンケート期間: H27年10月16日～11月16日まで) ※H28

木与付近 第1回アンケート (アンケート期間: H27年10月16日～11月16日まで) ※H28

社会資本整備審議会道路分科会中国地方小委員会開催状況

山陰道(三隅～小月)		山陰道(須子～萩)		
横山～豊田	三隅～長門	大井～萩	木与付近	小浜～田万川
第1回	-	第1回	第1回	-

▲道の駅 萩さんさん三見



▲萩東中学校

1. 意見聴取の概要

大井～萩 (第1回)

○回収率向上に向けて、新聞や広報紙への掲載、ポスターの掲示を行うとともに、ケーブルテレビでの広報を実施。

■新聞広告(平成27年11月3日(祝・火)の読売新聞・朝日新聞・毎日新聞に掲載)

山陰道(大井～萩)の計画に関する 山陰道(木与付近)の計画に関する 第1回アンケート調査

山陰道は、鳥取県鳥取市～山口県下関市までの延長約380kmの高規格幹線道路です。山陰道(大井～萩および木与付近)の計画について、地域の皆さまや道路利用者の方から意見を聴取し、計画に反映するためのアンケート調査です。今回のアンケート調査は、計画地域の「道路交差に関する現在の課題」、「地域の将来を考えた持たせたい道路機能」についての意見を伺う内容です。ご協力をお願いします。

アンケートについて

内容 山陰道(大井～萩): 山口県萩市大井～萩市橋の道路交差に関する現在の課題や当地域に求められる道路の役割等
山陰道(木与付近): 山口県阿武町阿武町木与の道路交差に関する現在の課題や当地域に求められる道路の役割等

方法

アンケート実施方法	実施方法
① 須佐地域にお住まいの方	●ご自宅にアンケートを郵送させていただきます。 ① 郵送料(送料は送料別)の金庫 ② 道の駅・市役所等に備え付けの調査票
② その他の地域にお住まいの方	●道の駅・市役所等に備え付けの調査票 ① インターネットでも回答いただけます。 ② インターネットでも回答いただけます。
③ 地域外にお住まいの方	●道の駅・市役所等に備え付けの調査票 ① インターネットでも回答いただけます。 ② インターネットでも回答いただけます。

優先整備区間の選定

第1回アンケート

比較ルートの検討分析

第2回アンケート

対策案の検討

整備方針の決定

調査期間 平成27年10月16日(金)～11月16日(月)

ご協力下さい **みなさまのご意見お待ちしております。**

国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所のホームページにも、アンケートページを掲載しました。

アンケートのお問い合わせ先
国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所
〒750-0854 山口県山口市下関 計画課 電話 0835-22-1819

WEBアンケートも併せて実施中です
山口河川国道事務所 検査
<http://www.e.gr.mlit.go.jp/yamaguchi/sa/index/>

■ポスター(道路利用者アンケート調査票常設箇所)に掲示

山陰道(大井～萩)の計画に関する 山陰道(木与付近)の計画に関する 第1回アンケート調査

実施中

調査期間 平成27年10月16日(金)～11月16日(月)

アンケート調査の目的

地域の皆さまや道路利用者の方の意見を道路計画に反映するためのアンケートです。日頃感じておられる課題や地域の将来のために必要な道路の機能についてご意見を伺いたく思います。

アンケート調査の対象範囲

大井～萩: 山口県萩市大井～萩市橋の区間
木与付近: 山口県阿武町阿武町木与の区間

アンケート調査にご協力をお願いします!

WEBアンケートでも回答いただけます。
<http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/sa/index/>

国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所 電話 0835-22-1819

■広報紙(市報HAGI 10月1日号、10月15日号、11月1日号に掲載)

山陰道のアンケート調査ぜひ回答を!

山陰道(益田市～萩市)は、今年2月から3月にかけて実施されたアンケート調査の参考として、大井～萩(約15km)、小浜～益田市(約5km)、木与付近(約5km)が、4月に優先整備区間として選定され、整備に向けて検討が開始されました。

このうち「大井～萩」「木与付近」については、「社会資本整備審議会 中国地方整備局 山口河川国道事務所」が決定しました。なお、本区間を対象としたアンケートは、今回を含め2回実施される予定です。

アンケート実施方法

- ① 萩・須佐地域の各世帯に郵送される調査票
- ② 道の駅や市役所、総合事務所等に備え付けの調査票
- ③ 国土交通省山口河川国道事務所のホームページ (<http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/index.php>)

①の封筒の色は黄色!

市報HAGI 2015(平成27年)10月15日号

■ケーブルテレビ(萩ケーブルテレビ)

アンケート用紙 11月16日(月)までに回答

- ・萩地域、須佐地域には各家庭に郵送
- ・市役所、総合事務所、道の駅等にも備え付けます
- ※インターネットでも回答できます

「国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所」のホームページを参照

アンケートにご協力をお願いします

萩地域、須佐地域には各家庭に郵送

<複数の意見がある家庭やアンケートが配布されない地域の方>

市役所等へ備え付けのアンケート用紙で回答
インターネットで回答

※インターネットでの回答は特別なIDやパスワード等は不要
同じ端末(パソコン、スマホ)から複数回の回答も可

■意見聴取(アンケート)内容

質問事項

- 現況の問題点・解消すべき課題
- 政策目標
- その他自由意見

質問1 「大井～萩間」の国道191号には、どのような交通課題があると思いますか？以下の①～⑤の課題について、各区間を5段階評価してください。
※現状について分からない方は、「分からない」の欄に「○」を付けてください。

<5段階評価> 5. 強く思う 4. やや思う 3. どちらとも言えない 2. あまりそう思わない 1. 全くそう思わない

- ① 観光シーズンなど交通渋滞や低速車による走行阻害により、円滑に走行できない
- ② 災害時の通行止めの発生により、大きな迂回を強いられる
- ③ カーブや急な坂、幅員狭小区間があり、快適に走行できない
- ④ 交通事故が多く、安全に通行できない
- ⑤ 地域の支所や公民館等の公共施設、商業施設への移動や観光地等へのアクセスが悪い
- ⑥ その他（自由回答）

質問2 この地域の道路を利用する際に、「大井～萩間」にはどのような道路機能を持たせるべきだと思いますか？地域の将来(10～20年後)も踏まえ、以下の①～⑦の道路機能について、各区間を5段階評価してください。

<5段階評価> 5. 強く思う 4. やや思う 3. どちらとも言えない 2. あまりそう思わない 1. 全くそう思わない

- ① カーブや急な坂が少なく、広い道路を快適に走行できること
- ② 災害時や異常気象時に安心・安全に通行できる代替路が確保されること
- ③ 通過交通と地域内交通が分離され、安全かつ円滑に通行できること
- ④ 交通事故を少なくできること
- ⑤ 港湾や生産拠点、消費地との連絡性が良く、広域物流の効率化や円滑な物資等の輸送ができること
- ⑥ 観光や地域間交流を促進できること
- ⑦ 救急病院への移動や広域的な救急搬送が円滑にできること
- ⑧ その他（自由回答）

質問3 その他、この区間の道路整備の必要性や今後の方向性などについて、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

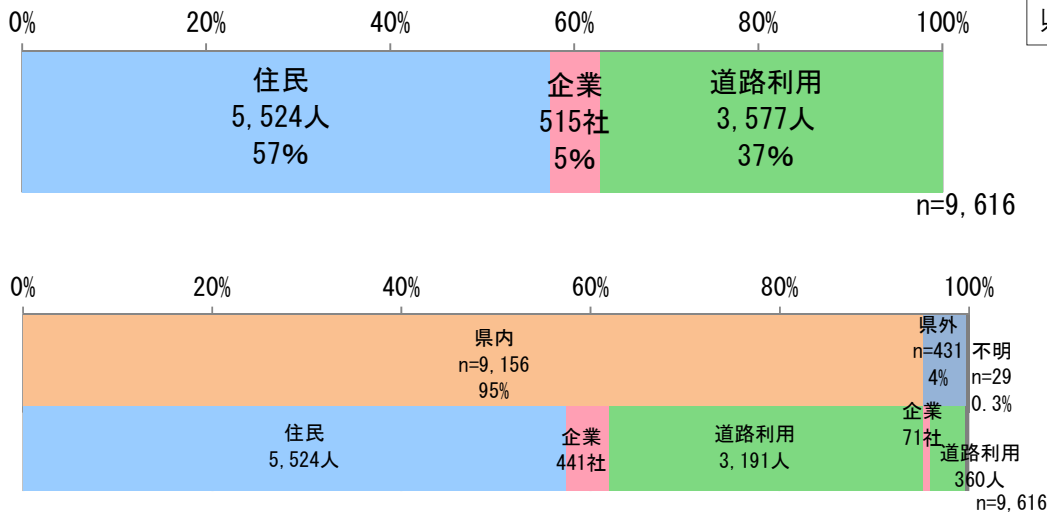
2. アンケート調査結果

2. アンケート調査結果

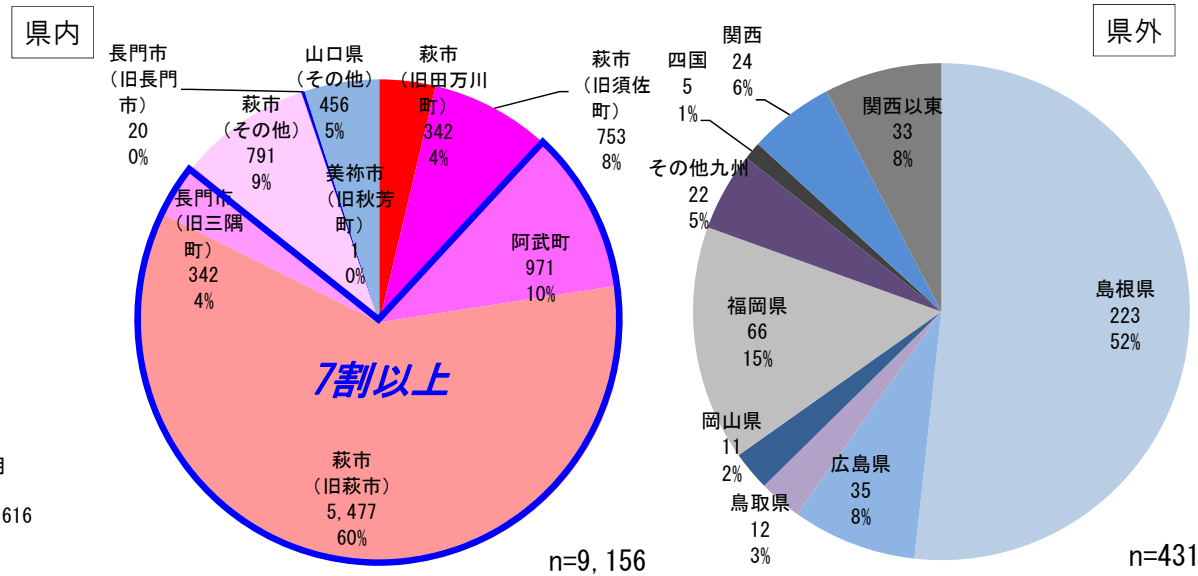
1) 属性①

- 住民約5,500人、企業約520社、道路利用者約3,600人から意見聴取を実施。
- 回答者のうち、旧萩市、阿武町、旧三隅町からの回答は7割以上を占める。
- 回答者の性別は男性が約6割以上を占め、年代別に見ると住民アンケートは世帯主と想定される60代以上の回答が約6割、道路利用者アンケートは60代以上の回答が約3割。

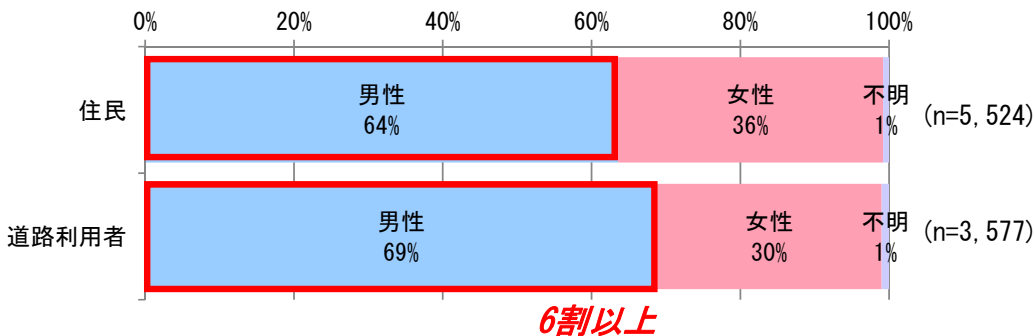
アンケート回収状況



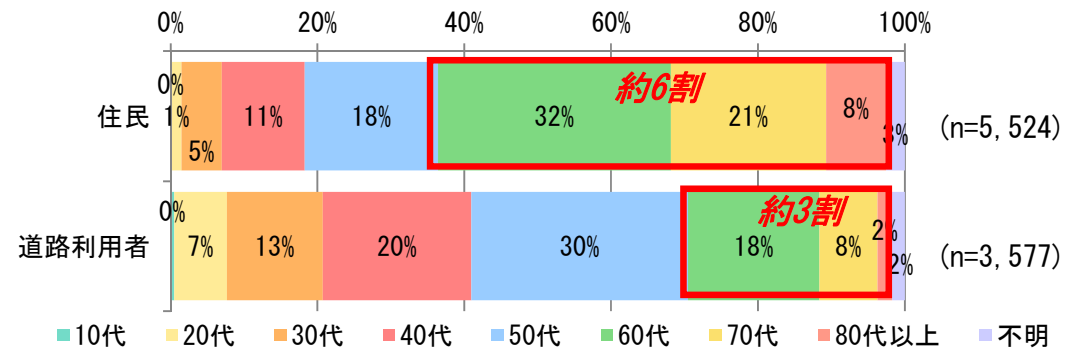
住所



性別



年代

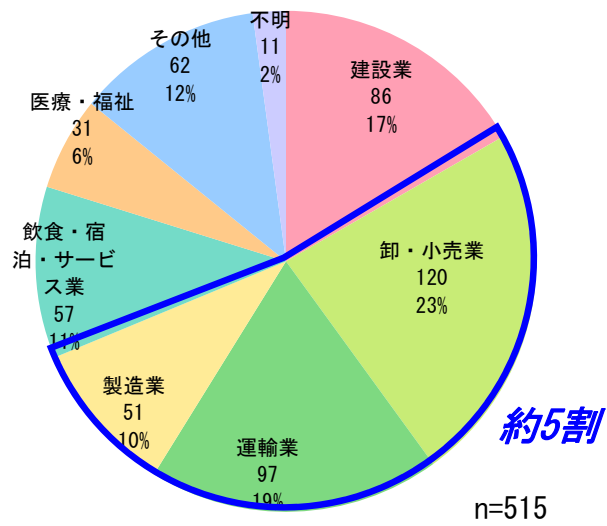


2. アンケート調査結果

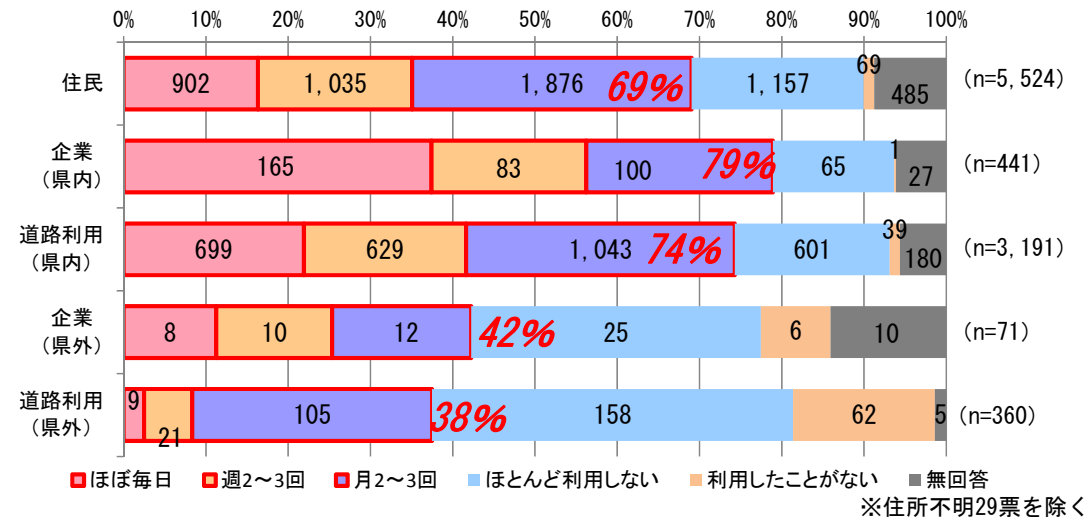
1) 属性②

- 企業アンケートは商品や製品の取扱い及び輸送を行う「卸・小売業」、「運輸業」、「製造業」からの回答が約5割。
- 住民の約7割が当該区間(大井～萩)を「月2～3回以上利用している」と回答。
- 利用目的は「仕事」「家事・買い物」と回答した方が多く、萩市と阿武町間の移動が約8割を占める。

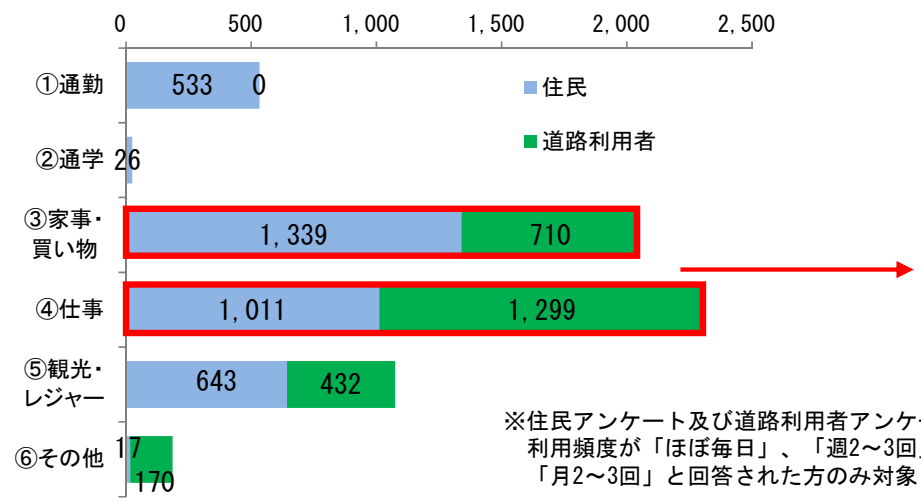
業種



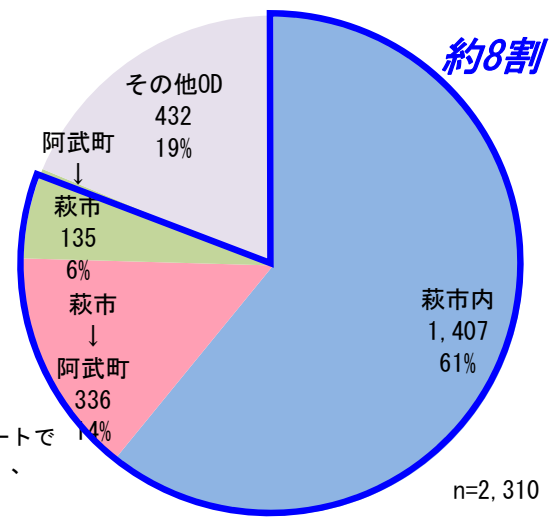
現在の大井～萩の国道191号の利用頻度



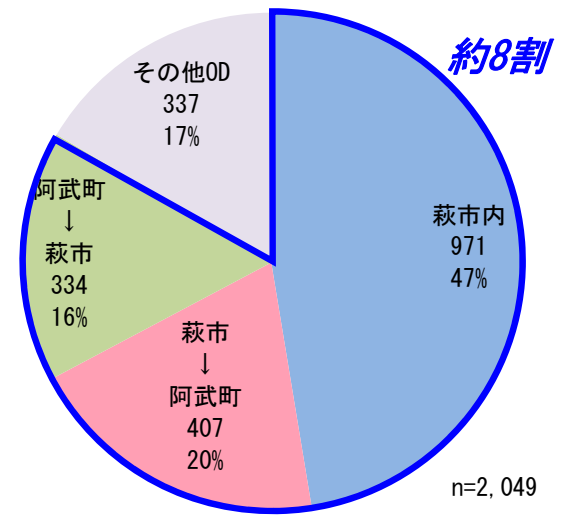
現在の大井～萩の国道191号の利用目的



<仕事目的のOD内訳>



<家事・買い物目的のOD内訳>



2. アンケート調査結果

2) 交通課題①

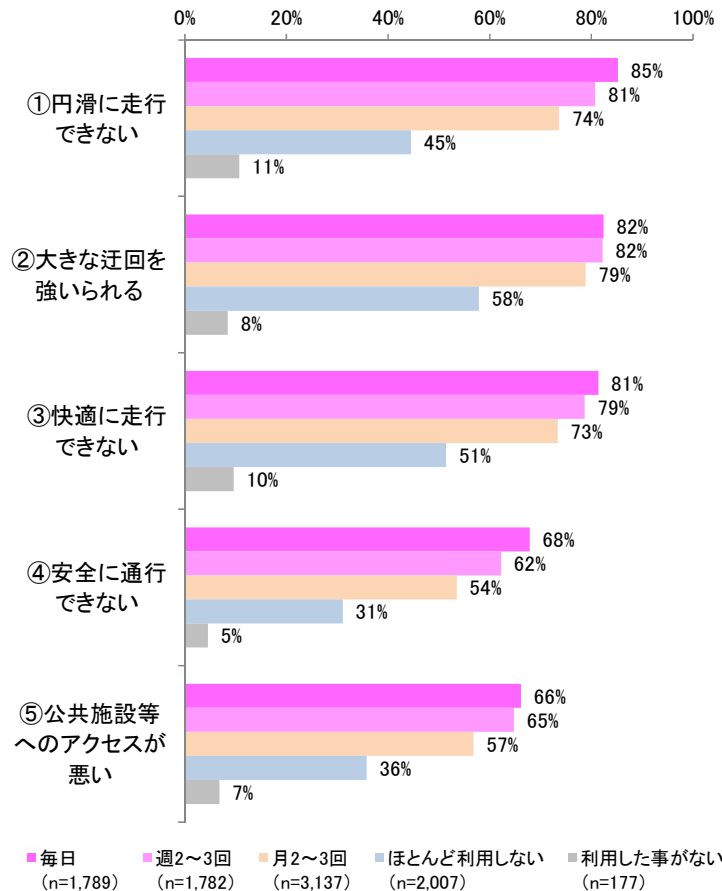
○利用頻度が高くなるほど、課題に対する賛同割合は高い傾向。
 ○高頻度利用者(毎日利用)のうち、萩市、阿武町の居住者・所在企業等とそれ以外でみると、地域に関わらず、課題意識が高く、住民・企業ともに課題認識が高い。

利用頻度別の交通課題

- ① 観光シーズンなど交通渋滞や低速車による走行阻害により、円滑に走行できない
- ② 災害時の通行止めの発生により、大きな迂回を強いられる
- ③ カーブや急な坂、幅員狭小区間があり、快適に走行できない
- ④ 交通事故が多く、安全に通行できない
- ⑤ 地域の支所や公民館等の公共施設、商業施設等への移動や観光地等へのアクセスが悪い

■利用頻度別の賛同意見割合

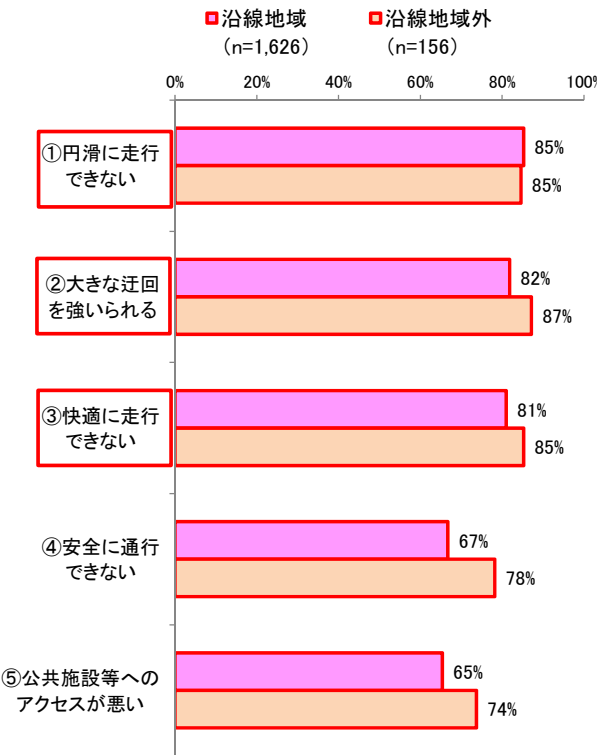
・利用頻度が高いほど賛同する割合は高い傾向。



※賛同割合は「強くそう思う」、「ややそう思う」との合計

■高頻度(毎日)利用者における萩市、阿武町居住者・所在企業等とそれ以外の賛同意見割合

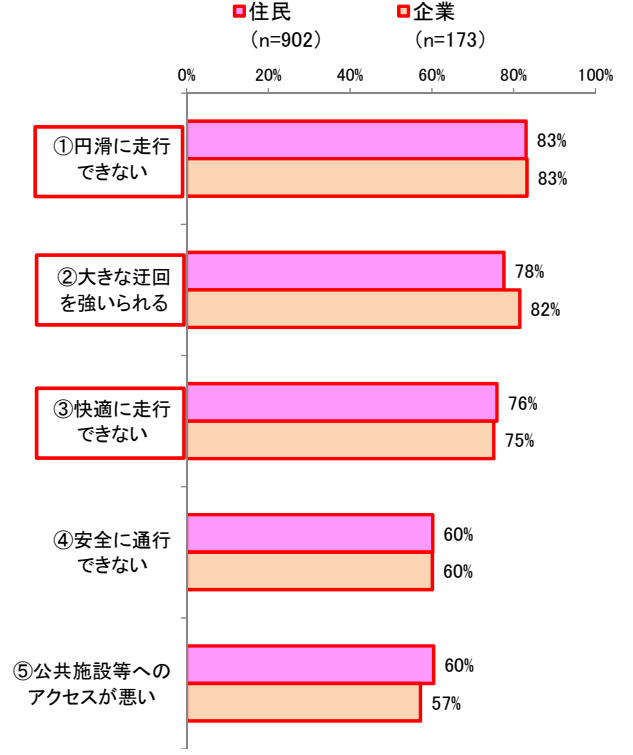
・沿線地域、沿線地域外ともに、「①円滑に走行できない」、「②大きな迂回を強いられる」、「③快適に走行出来ない」が約8割を越えて高い。



※賛同割合は「強くそう思う」、「ややそう思う」との合計

■高頻度(毎日)利用者における住民と企業別の賛同意見割合

・住民、企業ともに、「①円滑に走行できない」が約8割を越えて高い。「②大きな迂回を強いられる」、「③快適に走行出来ない」が約7割を越えている。



※賛同割合は「強くそう思う」、「ややそう思う」との合計

2. アンケート調査結果

2) 交通課題②

○交通特性別に集計した結果、通過交通の課題意識が高い傾向。

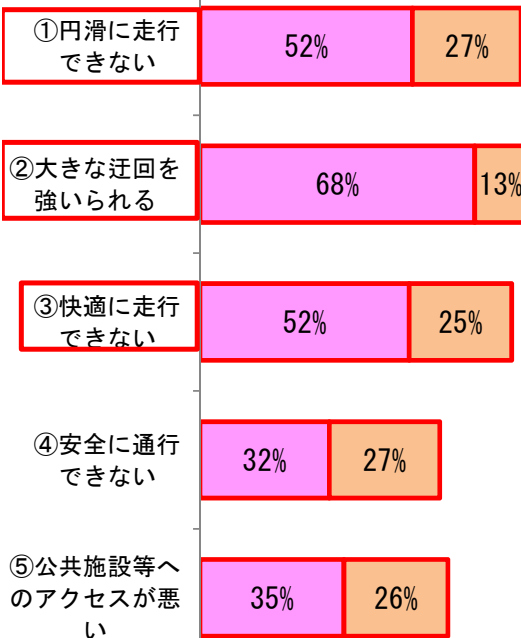
○どの交通特性も、「②災害時の通行止めの発生により、大きな迂回を強いられる」、「③カーブや急な坂、幅員狭小区間があり、快適に走行できない」、「①交通渋滞等による交通阻害により円滑に通行できない」といった交通課題に対する意見が多い。

交通特性別の交通課題

- ① 観光シーズンなど交通渋滞や低速車による走行阻害により、円滑に走行できない
- ② 災害時の通行止めの発生により、大きな迂回を強いられる
- ③ カーブや急な坂、幅員狭小区間があり、快適に走行できない
- ④ 交通事故が多く、安全に通行できない
- ⑤ 地域の支所や公民館等の公共施設、商業施設等への移動や観光地等へのアクセスが悪い

【内々交通】

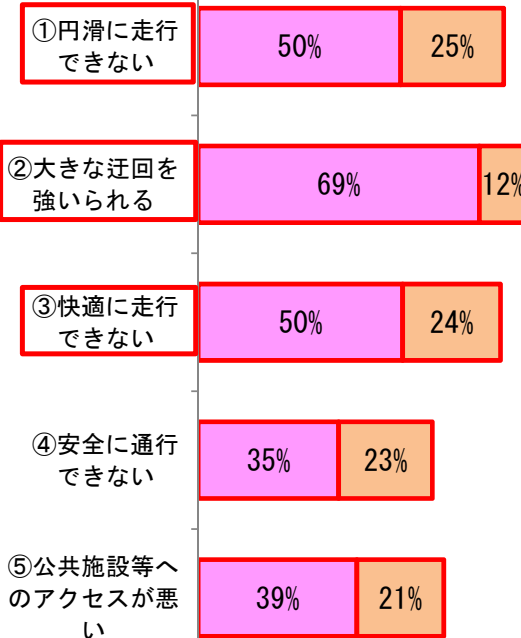
0% 20% 40% 60% 80% 100%



(n=4,930) ■強くそう思う ■ややそう思う

【内外交通】

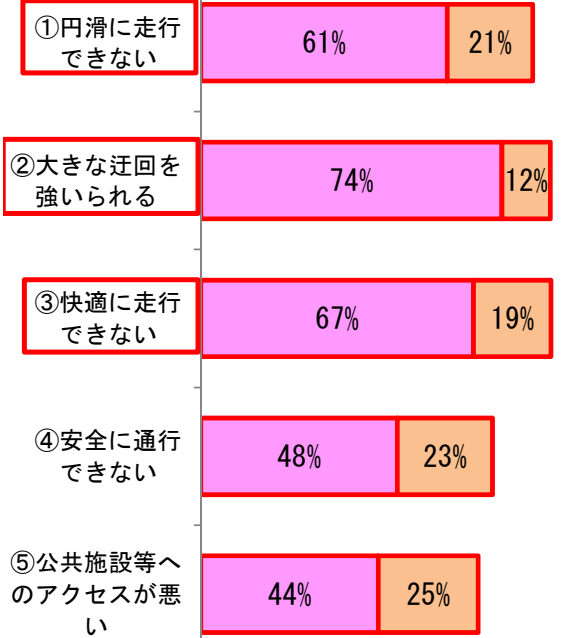
0% 20% 40% 60% 80% 100%



(n=988) ■強くそう思う ■ややそう思う

【通過交通】

0% 20% 40% 60% 80% 100%



(n=512) ■強くそう思う ■ややそう思う

内々交通：発着地ともに萩市もしくは阿武町の交通
 内外交通：発着地のいずれかが萩市もしくは阿武町の交通
 通過交通：発着地ともに萩市もしくは阿武町以外の交通

2. アンケート調査結果

3) 道路機能①

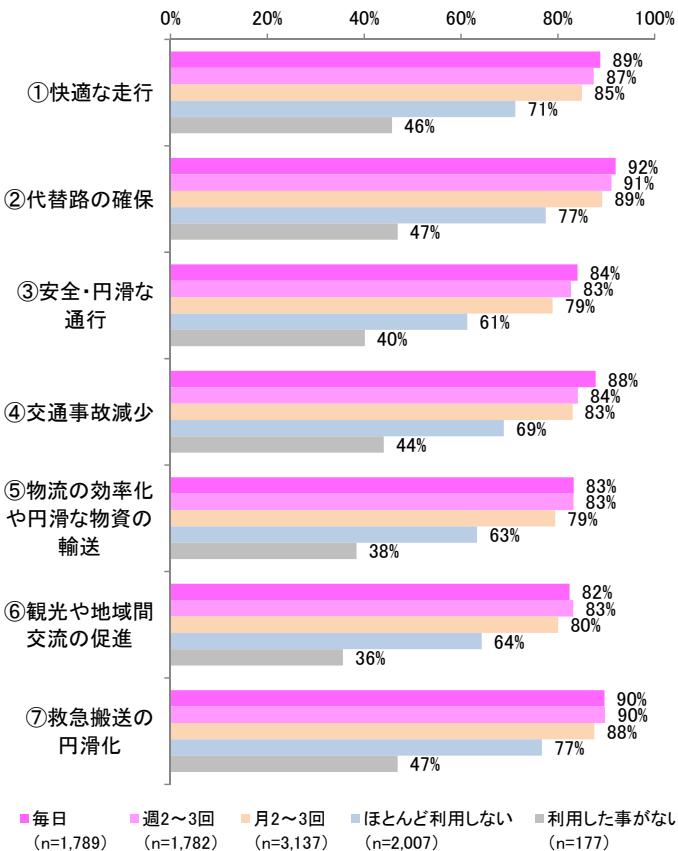
- 利用頻度が高くなるほど、道路機能に対する賛同割合は高い傾向。
- 高頻度利用者(毎日利用)のうち、萩市、阿武町の居住者・所在企業等とそれ以外でみると、地域に関わらず、必要とする道路機能の割合が高く、住民・企業も同様に高い。

利用頻度別の必要とする道路機能

- ① カーブや急な坂が少なく、広い道路を快適に走行できること
- ② 災害時や異常気象時に安心・安全に通行できる代替路が確保できること
- ③ 通過交通と地域内交通が分離され、安全かつ円滑に通行できること
- ④ 交通事故を少なくできること
- ⑤ 港湾や生産拠点、消費地との連絡性が良く、広域物流の効率化や円滑な物資等の輸送ができること
- ⑥ 観光や地域間交流を促進できること
- ⑦ 救急病院への移動や広域的な救急搬送が円滑にできること

■利用頻度別の賛同意見割合

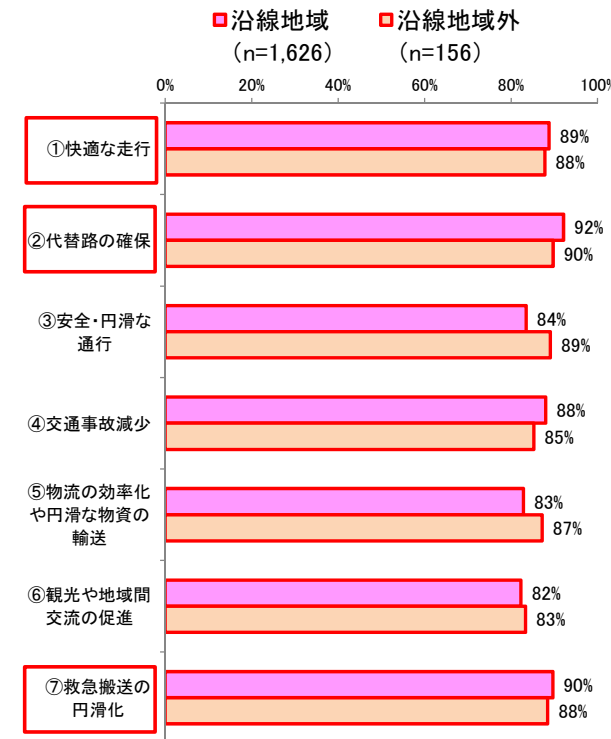
・利用頻度が高いほど賛同する割合は高い傾向。



※賛同割合は「強くそう思う」、「ややそう思う」との合計

■高頻度(毎日)利用者における萩市、阿武町居住者・所在企業等とそれ以外の賛同意見割合

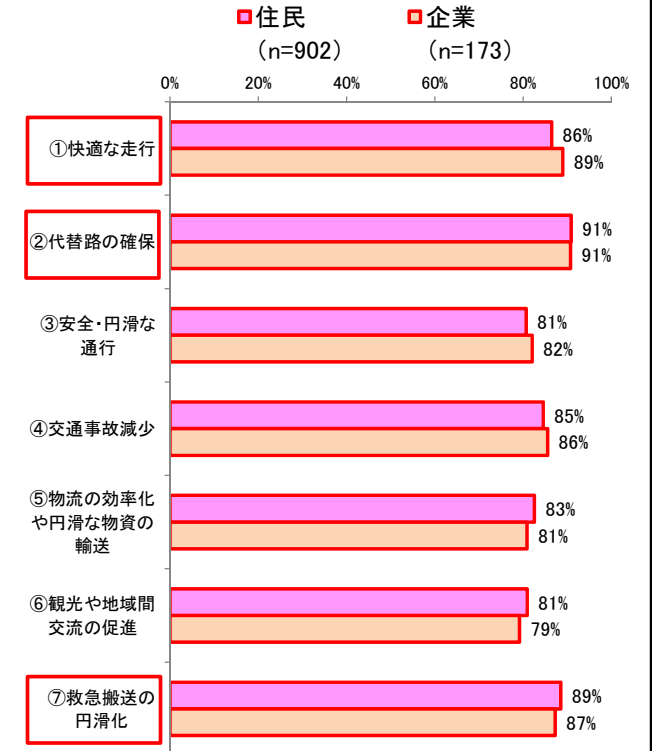
・沿線地域、沿線地域外ともに、「①快適な走行」、「②代替路の確保」、「⑦救急搬送の円滑化」がやや高い。



※賛同割合は「強くそう思う」、「ややそう思う」との合計

■高頻度(毎日)利用者における住民と企業別の賛同意見割合

・住民、企業ともに、「①快適な走行」、「②代替路の確保」、「⑦救急搬送の円滑化」がやや高い。



※賛同割合は「強くそう思う」、「ややそう思う」との合計

2. アンケート調査結果

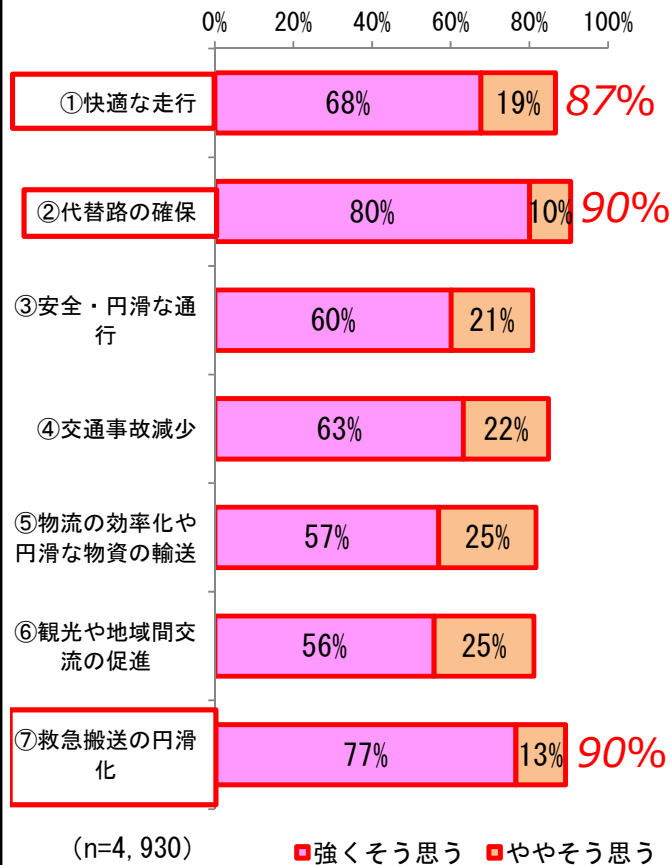
3) 道路機能②

○交通特性別に集計した結果、どの交通特性でも必要とする道路機能の上位3項目は「②安心・安全な代替路の確保」、「⑦救急搬送の円滑化」、「①快適な走行」となっている。

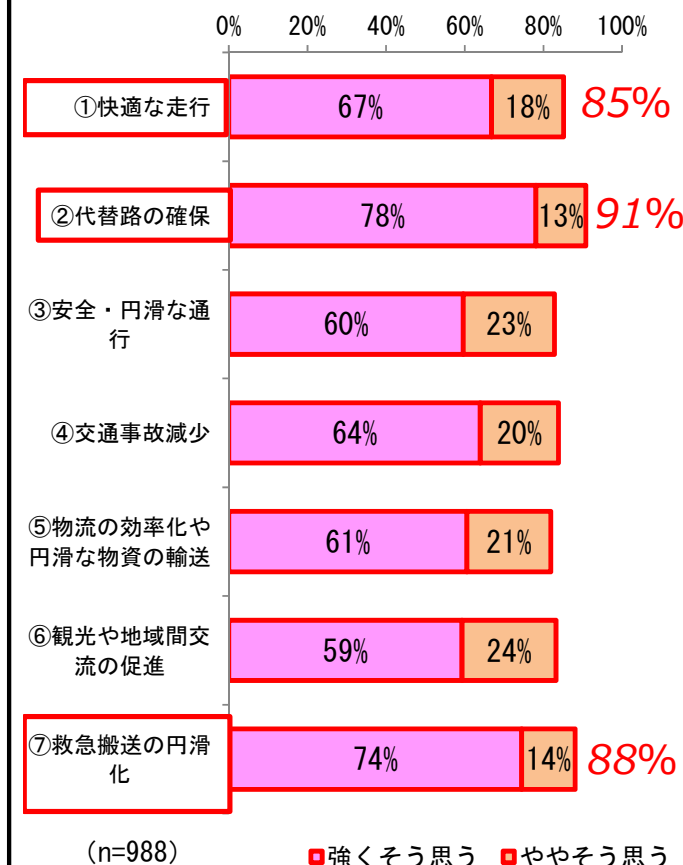
交通特性別の必要とする道路機能

- ① カーブや急な坂が少なく、広い道路を快適に走行できること
- ② 災害時や異常気象時に安心・安全に通行できる代替路が確保できること
- ③ 通過交通と地域内交通が分離され、安全かつ円滑に通行できること
- ④ 交通事故を少なくできること
- ⑤ 港湾や生産拠点、消費地との連絡性が良く、広域物流の効率化や円滑な物資等の輸送ができること
- ⑥ 観光や地域間交流を促進できること
- ⑦ 救急病院への移動や広域的な救急搬送が円滑にできること

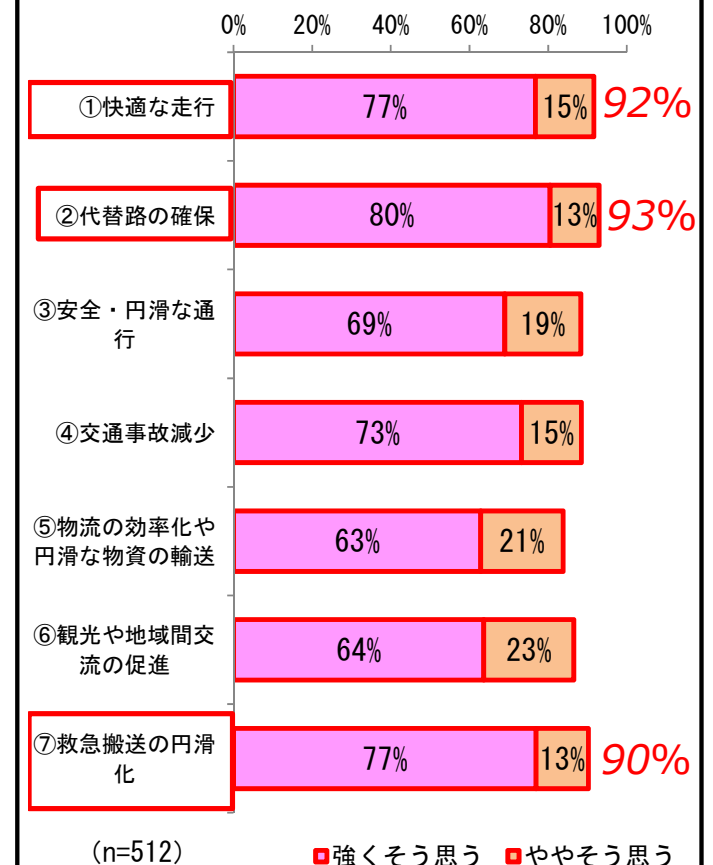
【内々交通】



【内外交通】



【通過交通】



内々交通：発着地ともに萩市もしくは阿武町の交通

内外交通：発着地のいずれかが萩市もしくは阿武町の交通

通過交通：発着地ともに萩市もしくは阿武町以外の交通

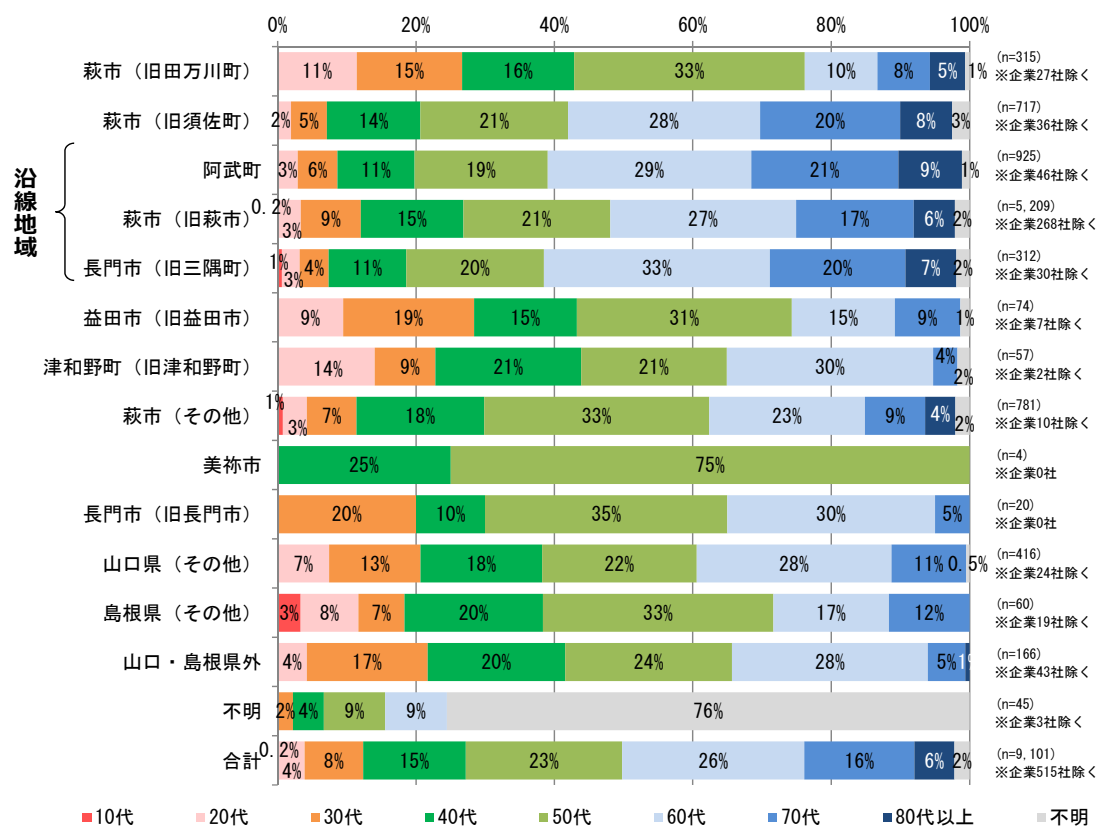
3. アンケートクロス集計結果

3. アンケートクロス集計結果

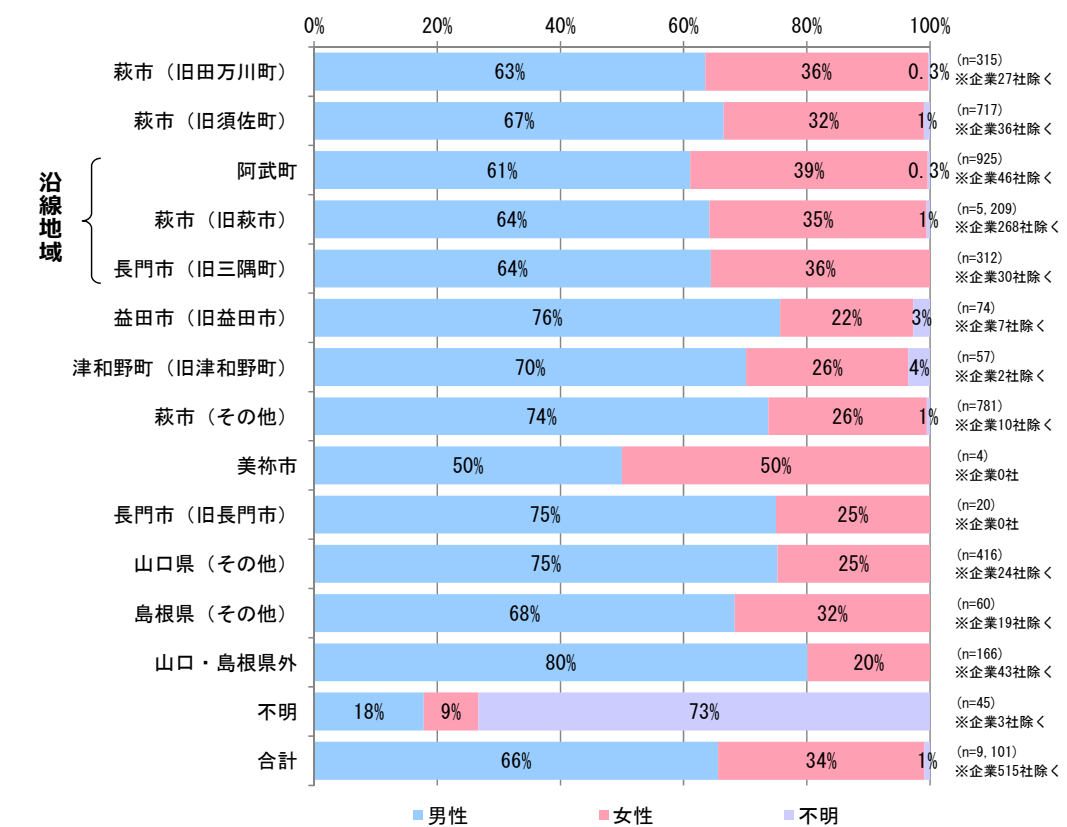
1) 属性分析①（住所別）

○住所別年齢は、年齢構成に大きな偏りは無いが、沿線地域外に比べ、沿線地域（旧萩市、旧田万川町、旧三隅町）の高齢者の回答割合が高い。
 ○住所別性別は、概ね男性が7割、女性3割である。

【住所×年齢】



【住所×性別】



※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果
 ※企業アンケート（n=515）を除く

※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果
 ※企業アンケート（n=515）を除く

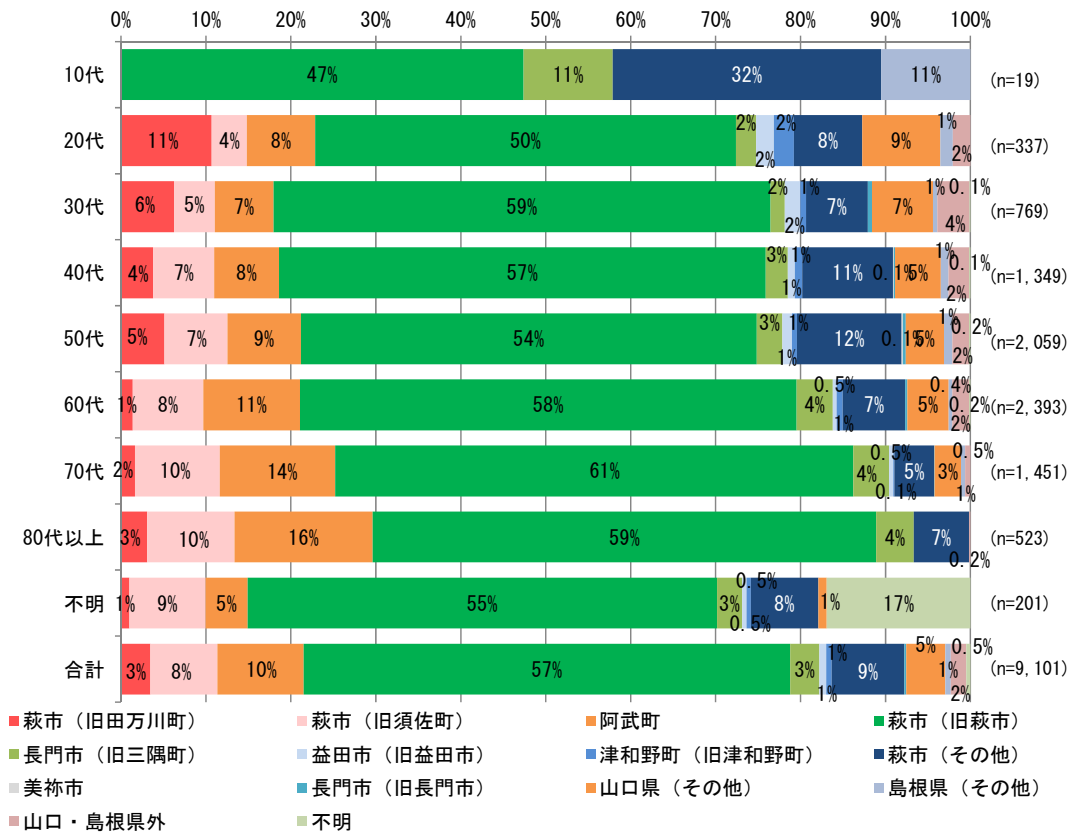
3. アンケートクロス集計結果

1) 属性分析②（年齢別）

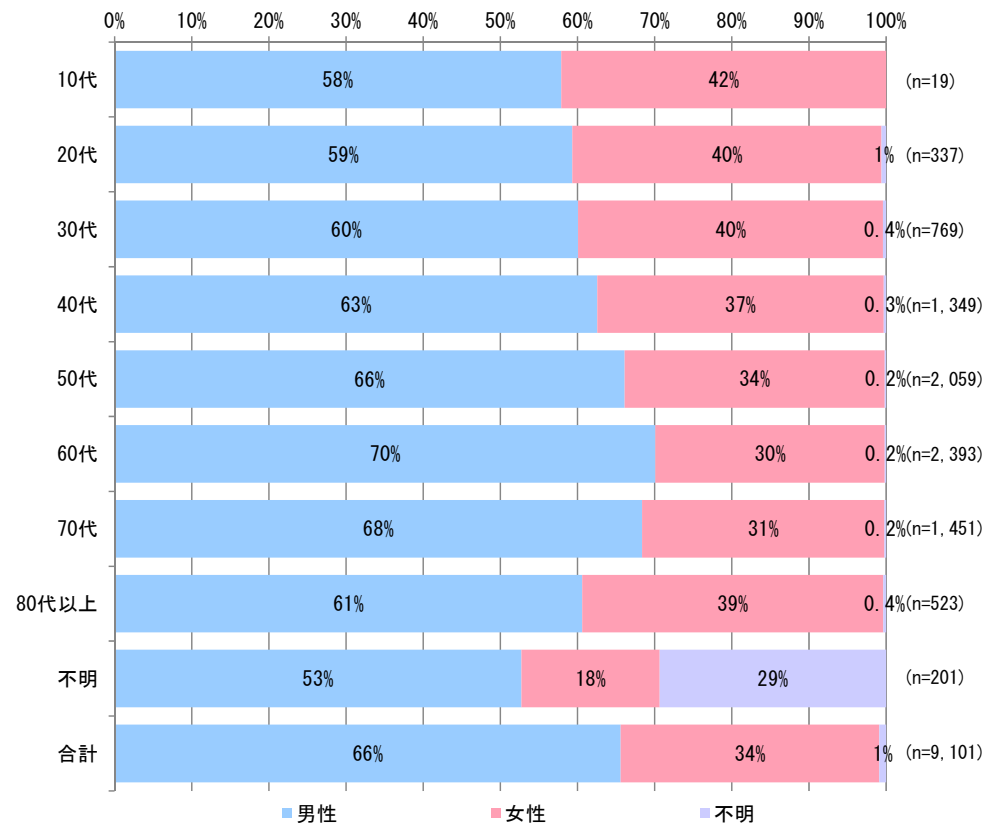
○年齢別居住地は、母数の少ない10代を除き、高齢になるほど沿線地域（旧萩市、旧田万川町、旧三隅町）の回答者の割合が高い。

○年齢があがるほど、男性の回答割合が高い。

【年齢×住所】



【年齢×性別】



※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果
※企業アンケート（n=515）を除く

※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果
※企業アンケート（n=515）を除く

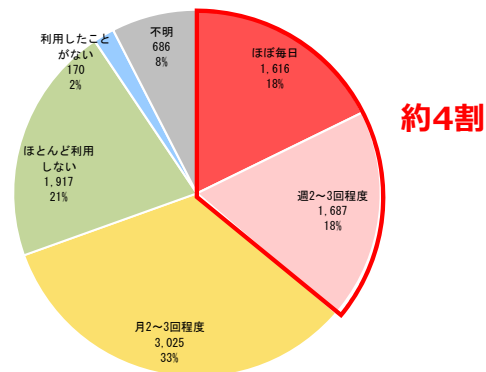
3. アンケートクロス集計結果

2) 利用頻度分析 (住所別)

○住所別の利用頻度は、阿武町の利用頻度が高い。
 ○住所別利用目的は、全体では「仕事」が最も多く、次いで「家事・買物」「観光・レジャー」となっており、旧萩市は同様の傾向。一方で、阿武町は最も多い利用目的が「家事・買物」となっている。

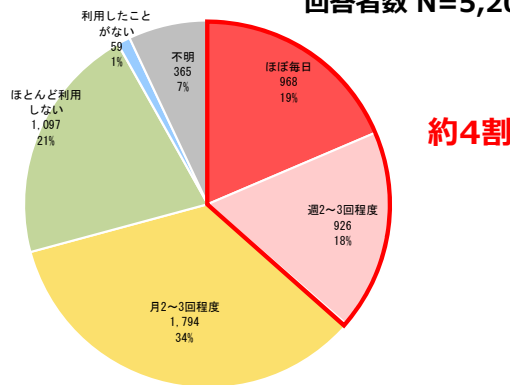
【住所×利用頻度】

【全体】 回答者数 N=9,101



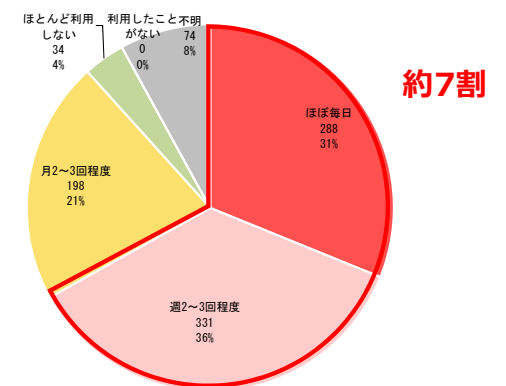
【萩市 (旧萩市)】

回答者数 N=5,209



【阿武町】

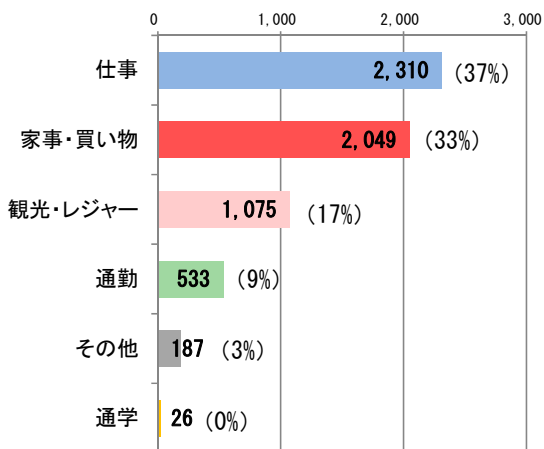
回答者数 N=925



※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果

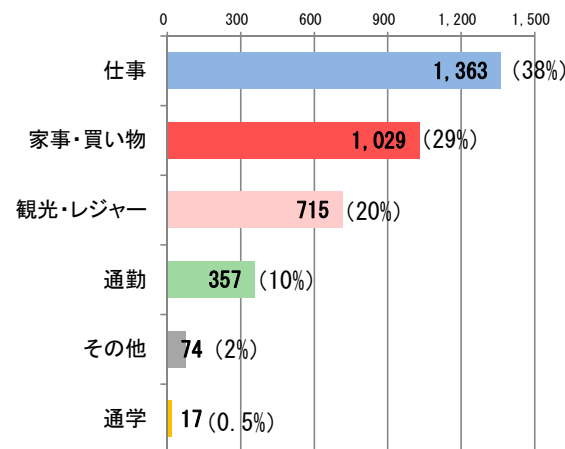
【住所×利用目的】

【全体】 回答者数 N=6,328
総意見数 N=6,180



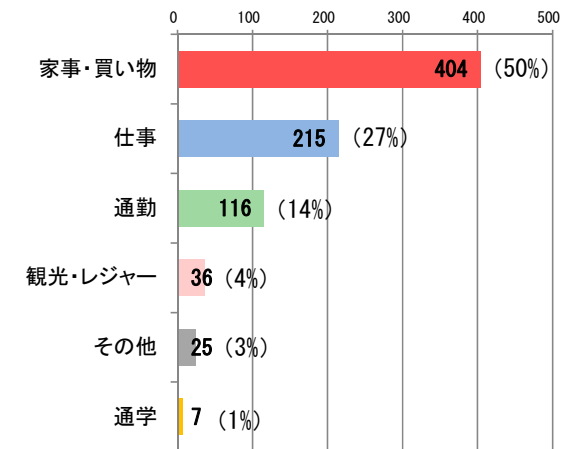
【萩市 (旧萩市)】

回答者数 N=3,688
総意見数 N=3,555



【阿武町】

回答者数 N=817
総意見数 N=803



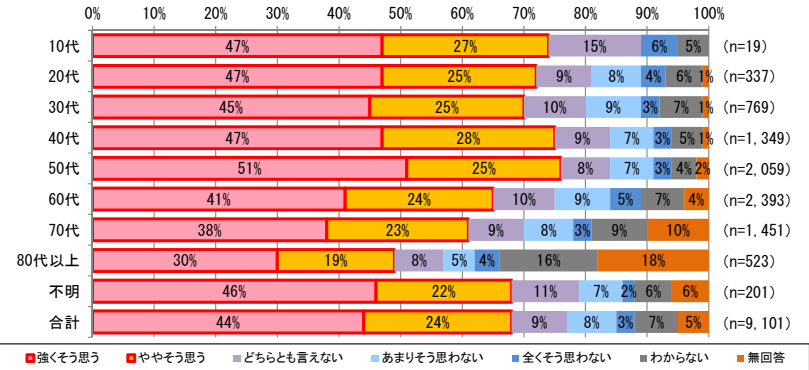
※住民アンケート及び道路利用者アンケートのうち、利用頻度が月2~3回以上を集計

3. アンケートクロス集計結果

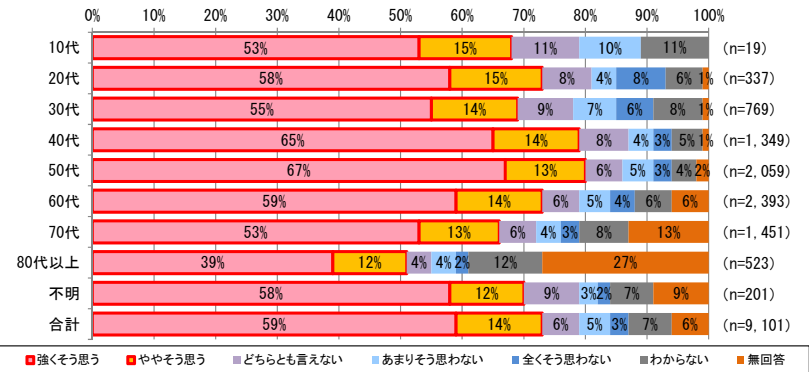
3) 課題の分析①（年代別）

○大井～萩で感じている課題に関して、年代別にみると、10代～50代の方が「強く思う」、「ややそう思う」と回答された方の割合が高い傾向にある。

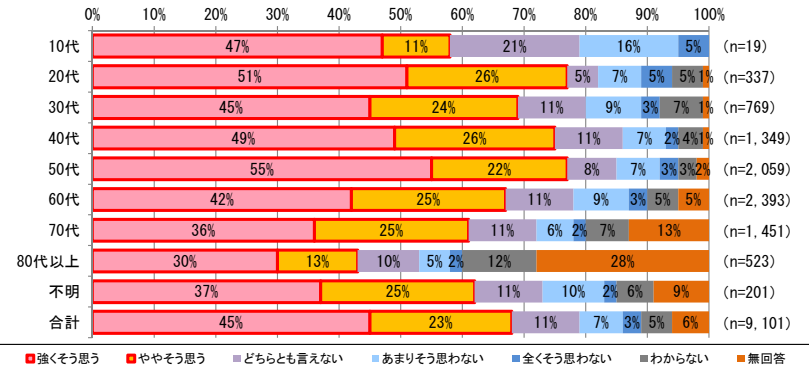
①観光シーズンなど交通渋滞や低速車による走行阻害により、円滑に走行できない



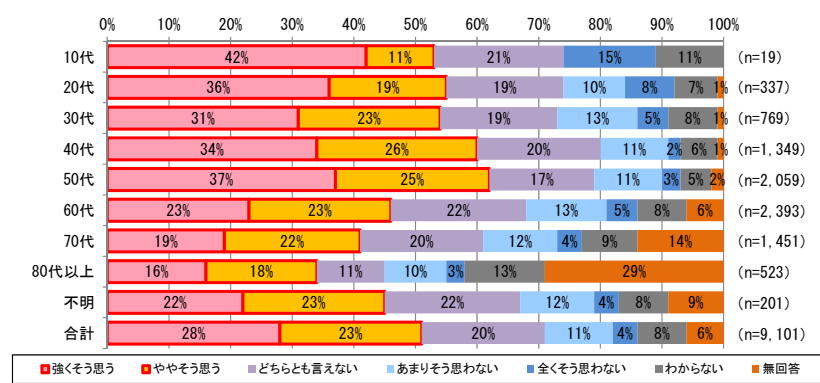
②災害時の通行止めが発生により、大きな迂回を強いられる



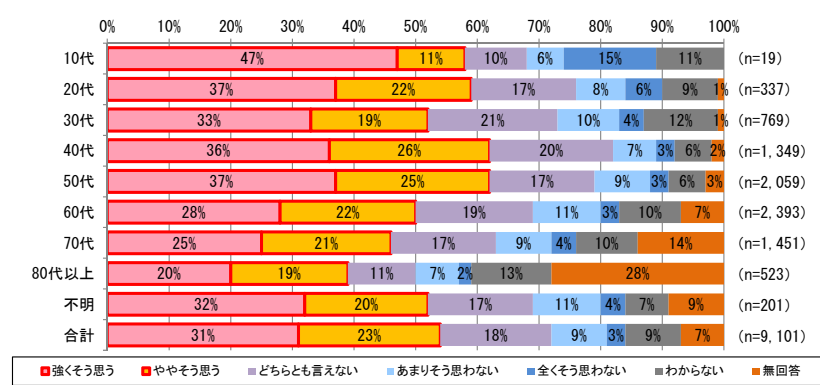
③カーブや急な坂、幅員狭小区間があり、快適に走行できない



④交通事故が多く、安全に通行できない



⑤地域の支所や公民館等の公共施設、商業施設への移動や観光地等へのアクセスが悪い



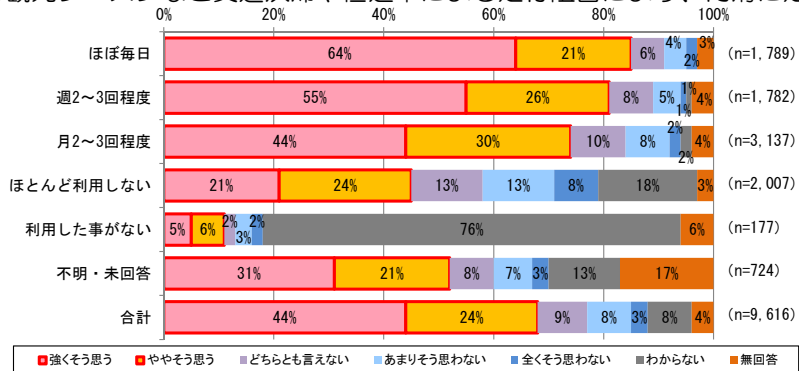
※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果
※企業アンケート（n=515）を除く

3. アンケートクロス集計結果

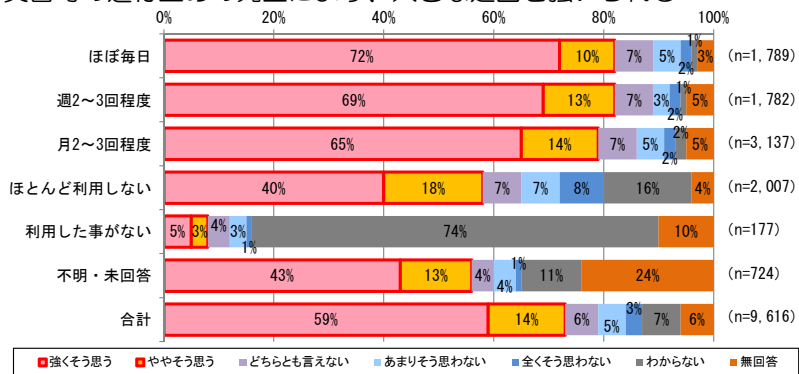
3) 課題の分析②（利用頻度別）

○大井～萩で感じている課題に関して、利用頻度別にみると、利用頻度が多くなるほど、「強く思う」、「やや思う」と回答する割合が高くなる傾向にある。

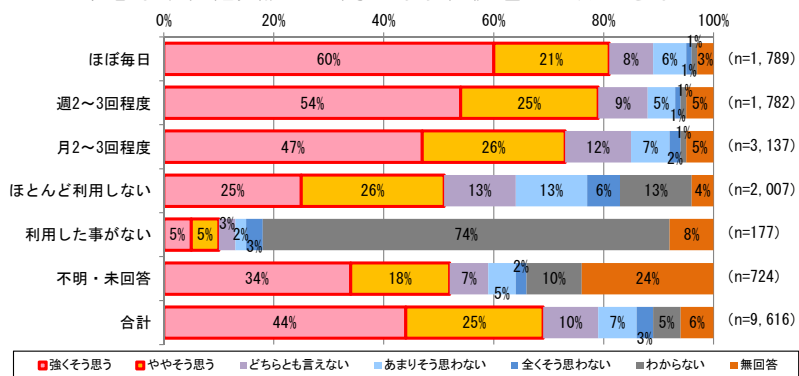
①観光シーズンなど交通渋滞や低速車による走行阻害により、円滑に走行できない



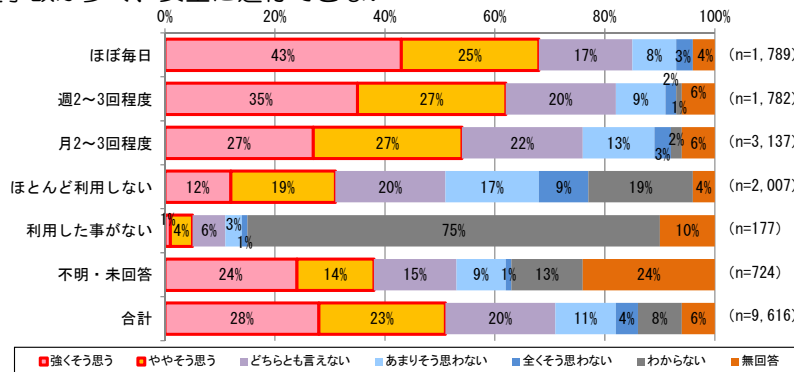
②災害時の通行止めの発生により、大きな迂回を強いられる



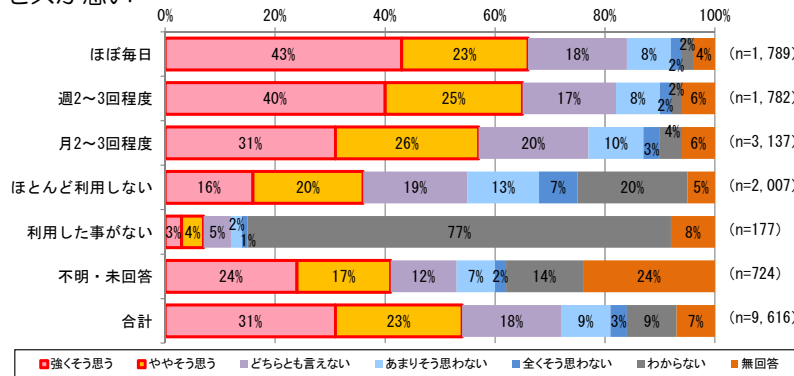
③カーブや急な坂、幅員狭小区間があり、快適に走行できない



④交通事故が多く、安全に通行できない



⑤地域の支所や公民館等の公共施設、商業施設への移動や観光地等へのアクセスが悪い

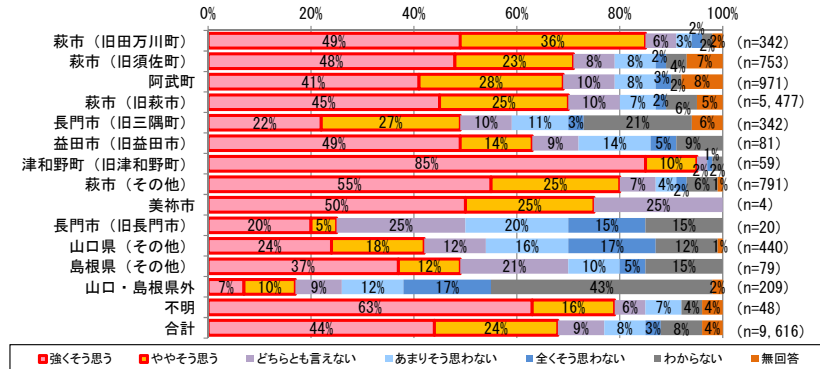


3. アンケートクロス集計結果

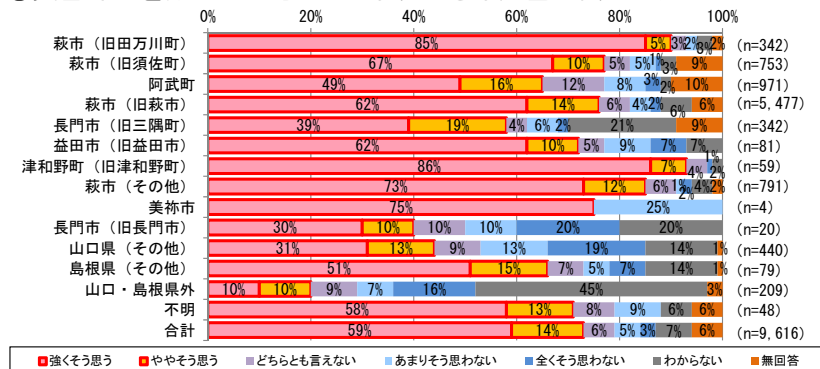
3) 課題の分析③ (住所別)

○大井～萩で感じている課題に関して、住所別にみると、事業区間が通過する萩市(旧萩市)だけでなく周辺の萩市(旧須佐町)、萩市(旧田万川町)等においても「強くそう思う」、「ややそう思う」と回答する割合が高くなっている。

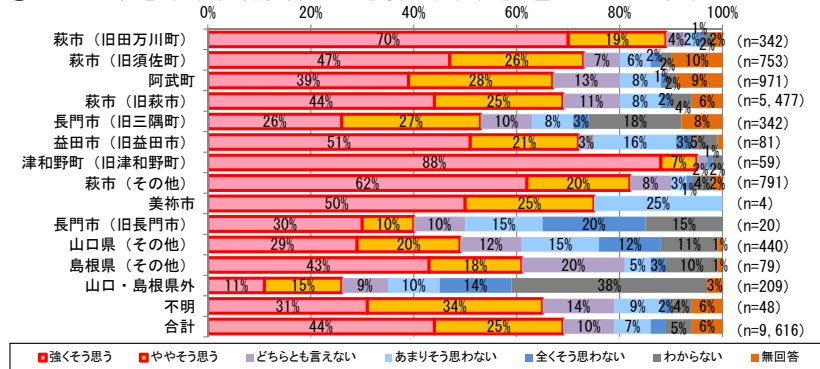
①観光シーズンなど交通渋滞や低速車による走行阻害により、円滑に走行できない



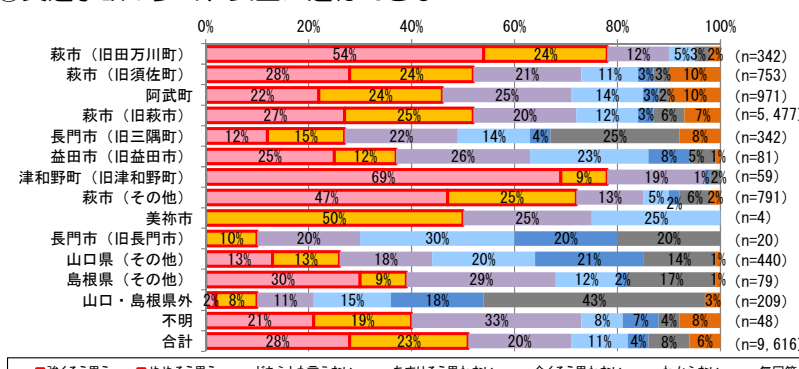
②災害時の通行止めの発生により、大きな迂回を強いられる



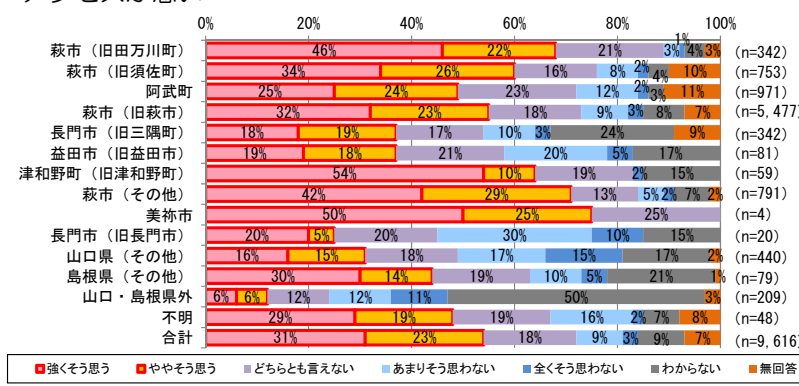
③カーブや急な坂、幅員狭小区間があり、快適に走行できない



④交通事故が多く、安全に通行できない



⑤地域の支所や公民館等の公共施設、商業施設への移動や観光地等へのアクセスが悪い

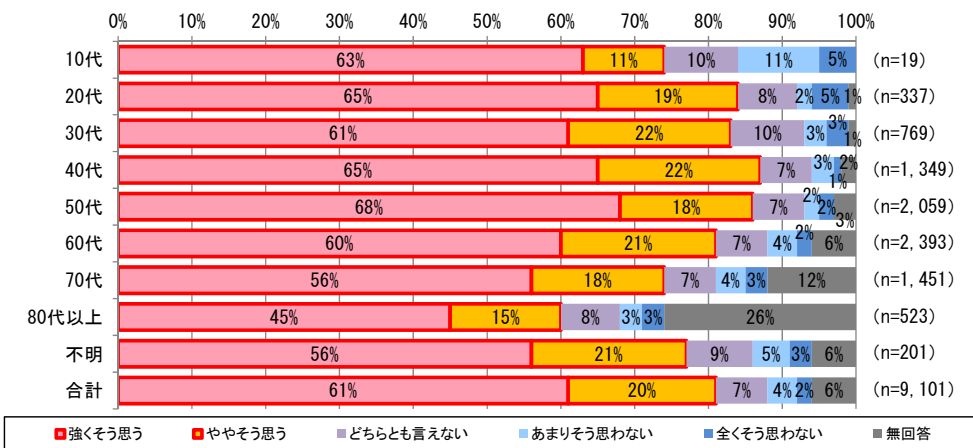


3. アンケートクロス集計結果

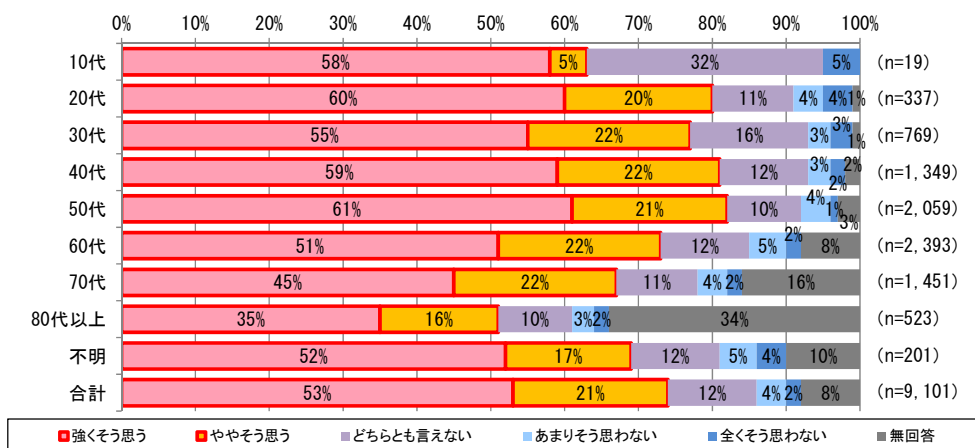
4) 必要な機能の分析①（年代別）

○道路に求める機能のうち、「カーブや急な坂が少なく、広い道路を快適に走行できること」、「災害時や異常気象時に安心・安全に通行できる代替路が確保されること」、「通過交通と地域内交通が分離され、安全かつ円滑に通行できること」、「交通事故を少なくできること」は20～50代の約8割の方が「強くそう思う」または「ややそう思う」と回答。

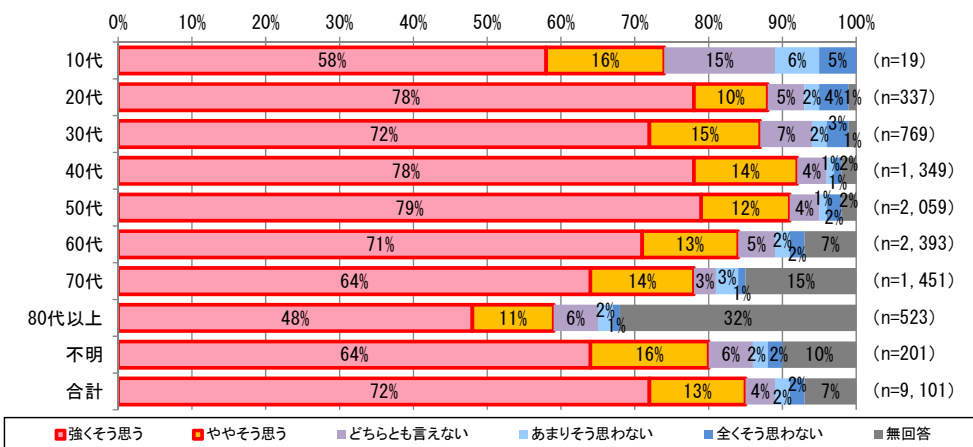
①カーブや急な坂が少なく、広い道路を快適に走行できること



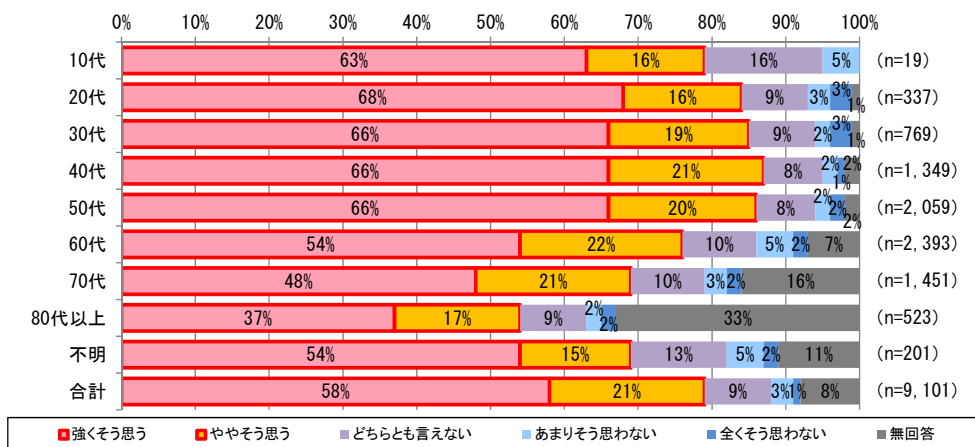
③通過交通と地域内交通が分離され、安全かつ円滑に通行できること



②災害時や異常気象時に安心・安全に通行できる代替路が確保されること



④交通事故を少なくできること

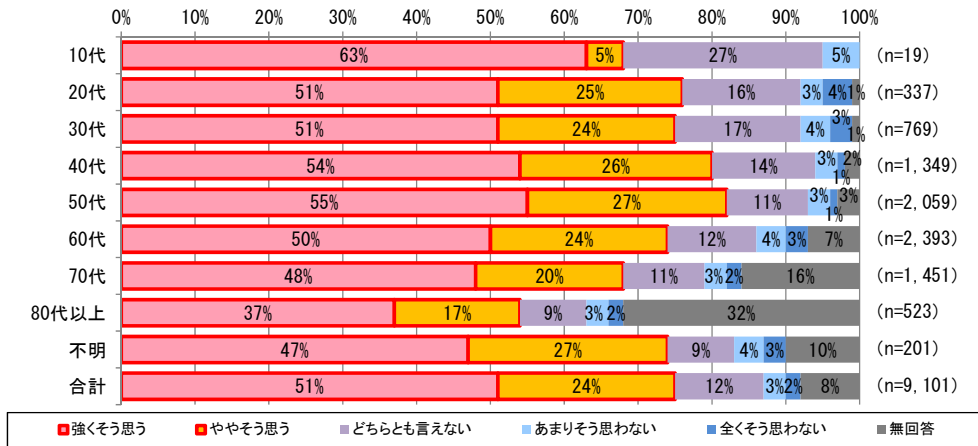


3. アンケートクロス集計結果

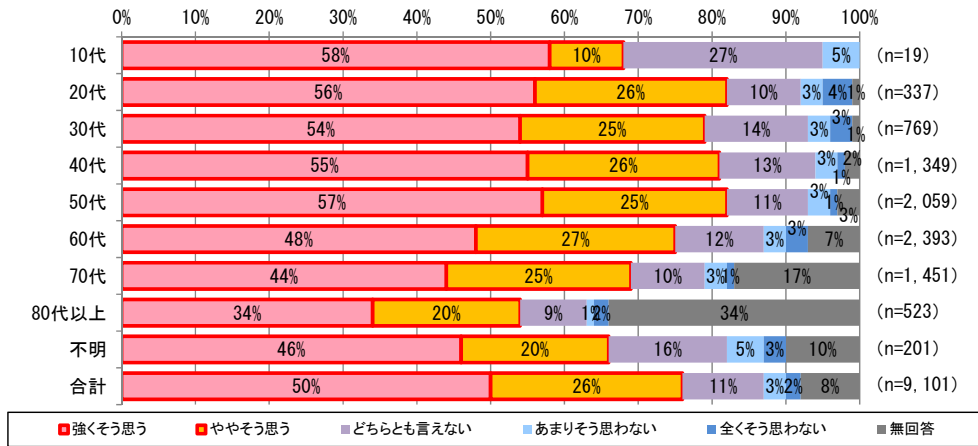
4) 必要な機能の分析①（年代別）

○道路に求める機能のうち、「観光や地域間交流を促進できること」、「救急病院への移動や広域的な救急搬送が円滑にできること」は20～50代の約8割の方が「強くそう思う」または「ややそう思う」と回答。

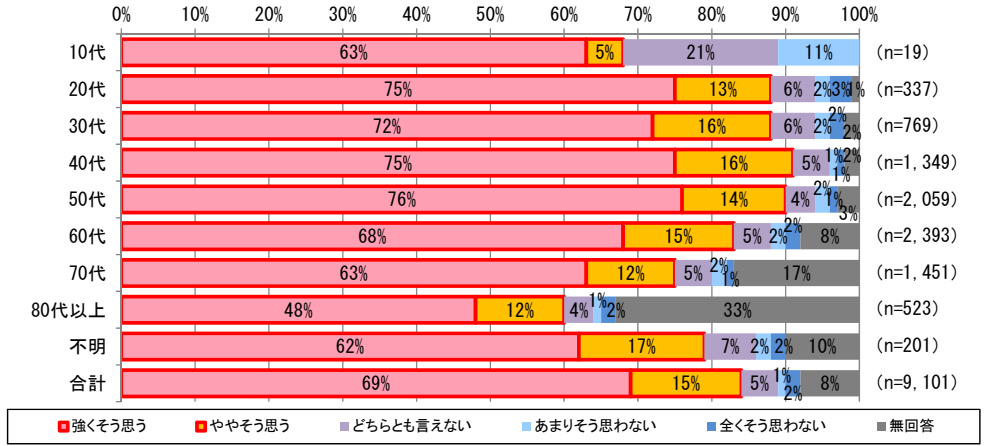
⑤港湾や生産拠点、消費地との連絡性が良く、広域物流の効率化や円滑な物資等の輸送ができること



⑥観光や地域間交流を促進できること



⑦救急病院への移動や広域的な救急搬送が円滑にできること



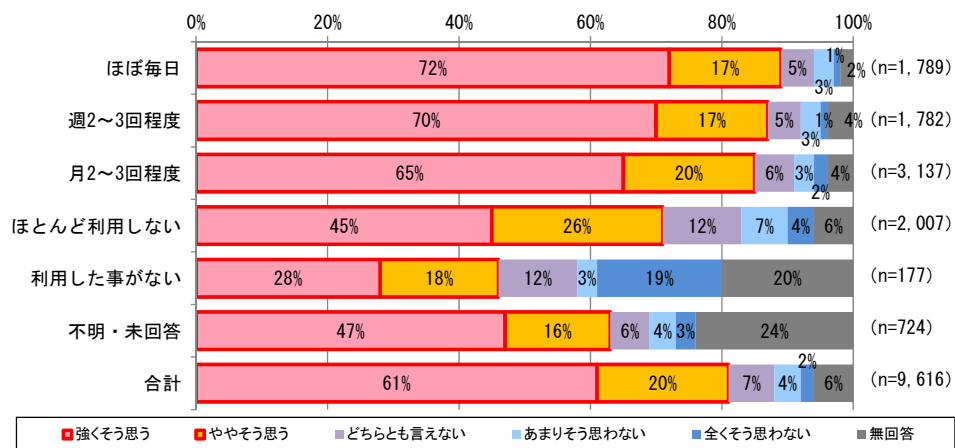
※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果
 ※企業アンケート（n=515）を除く

3. アンケートクロス集計結果

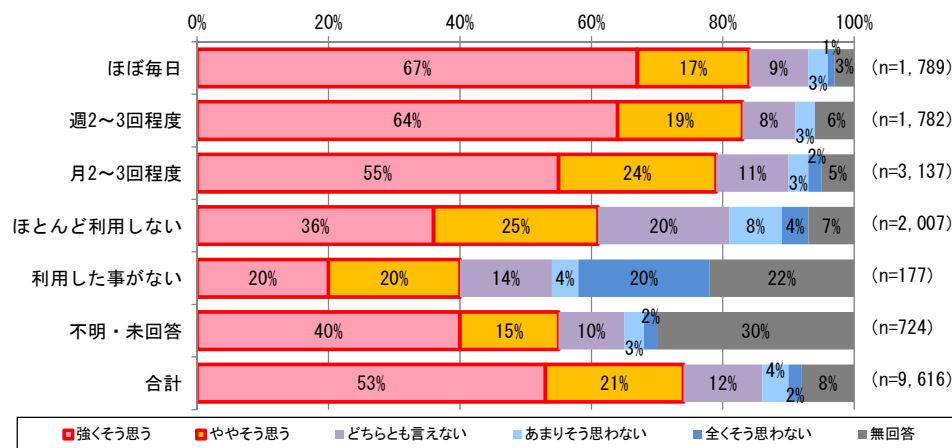
4) 必要な機能の分析②（利用頻度別）

○道路に求める機能について利用頻度別にみると、利用頻度が多くなるほど、「強くそう思う」、「ややそう思う」と回答する割合が高くなる傾向。

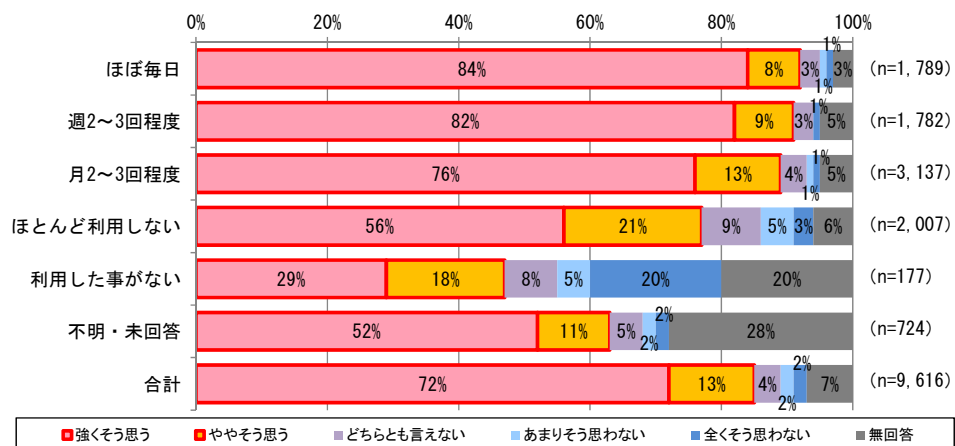
①カーブや急な坂が少なく、広い道路を快適に走行できること



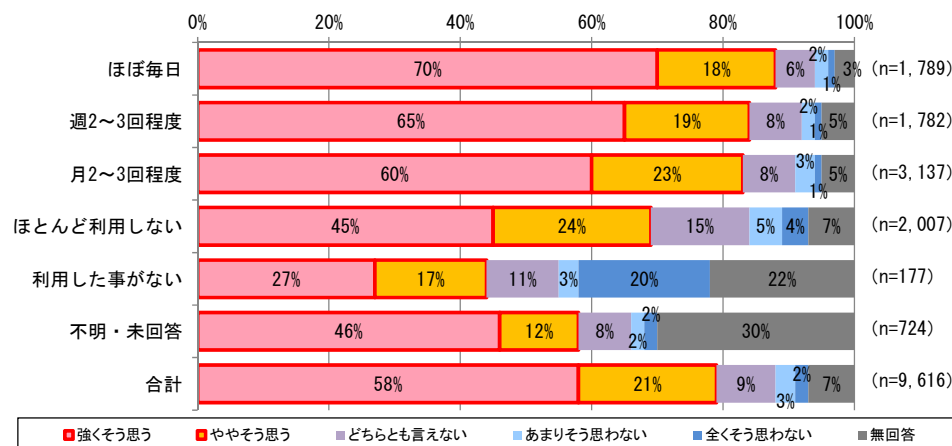
③通過交通と地域内交通が分離され、安全かつ円滑に通行できること



②災害時や異常気象時に安心・安全に通行できる代替路が確保されること



④交通事故を少なくできること

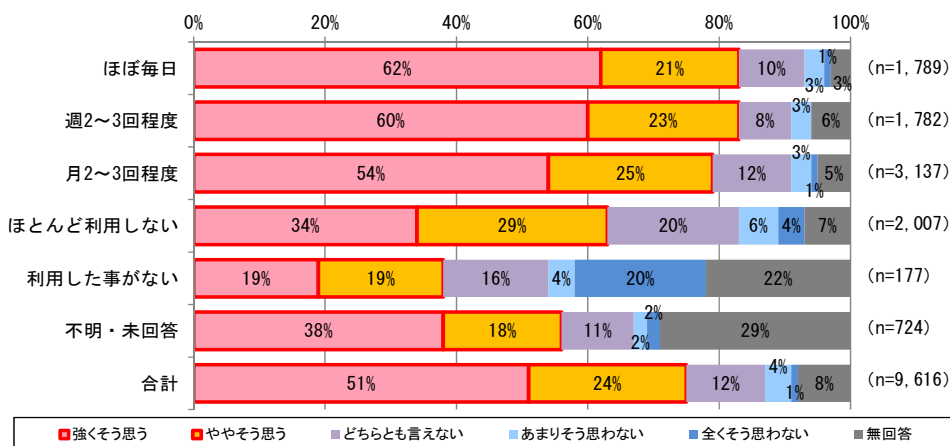


3. アンケートクロス集計結果

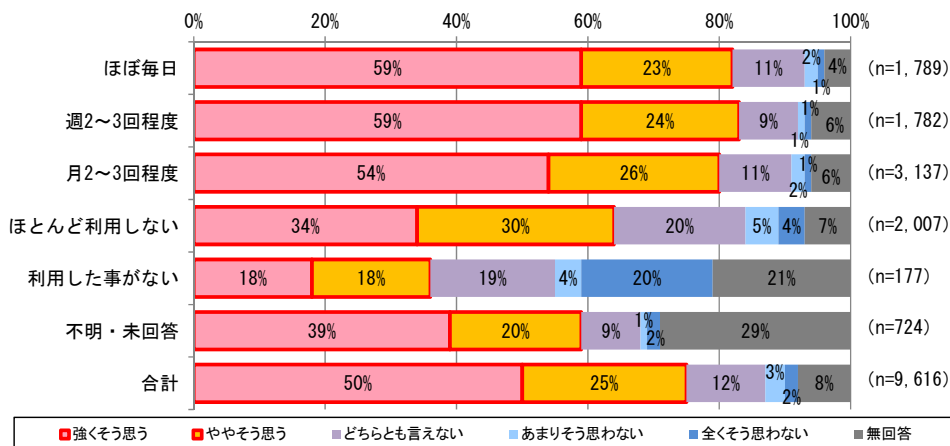
4) 必要な機能の分析②（利用頻度別）

○道路に求める機能について利用頻度別にみると、利用頻度が多くなるほど、「強くそう思う」、「ややそう思う」と回答する割合が高くなる傾向。

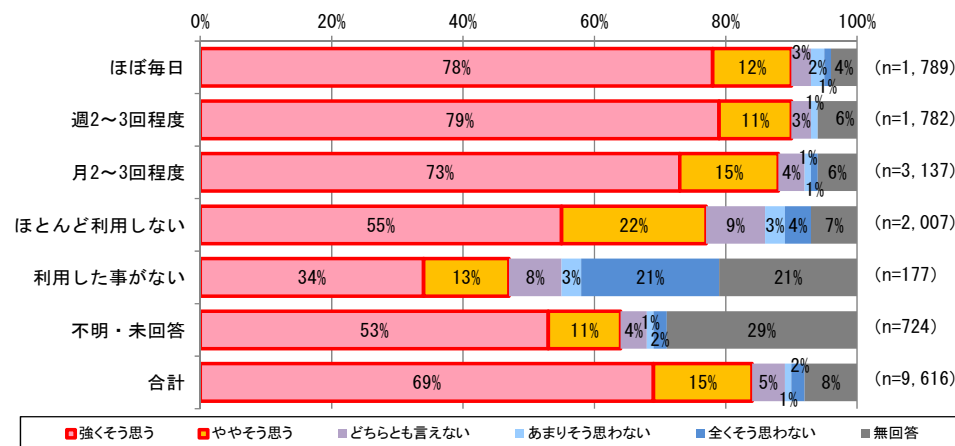
⑤ 港湾や生産拠点、消費地との連絡性が良く、広域物流の効率化や円滑な物資等の輸送ができること



⑥ 観光や地域間交流を促進できること



⑦ 救急病院への移動や広域的な救急搬送が円滑にできること

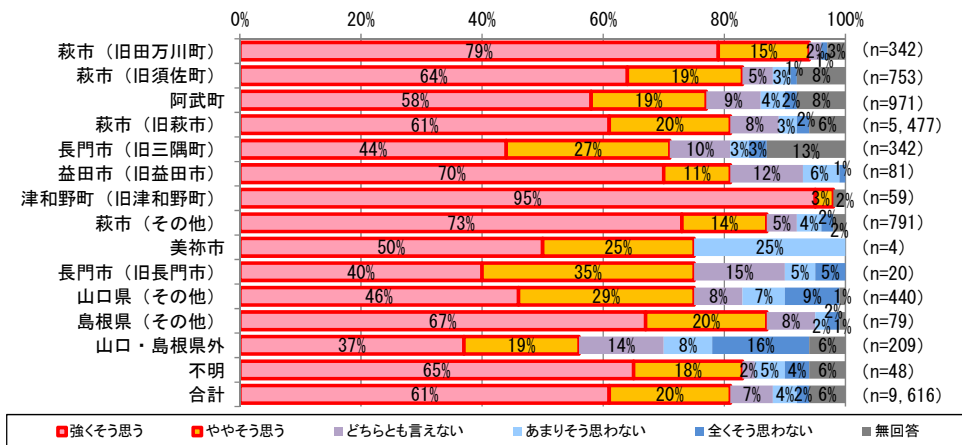


3. アンケートクロス集計結果

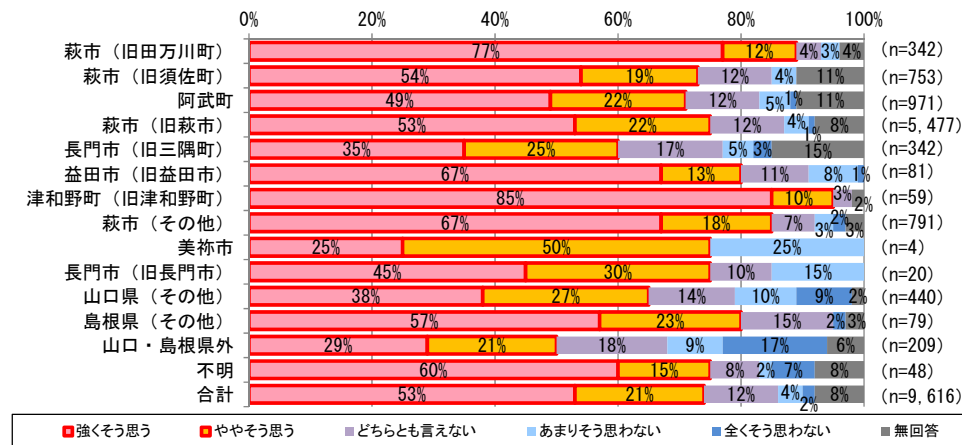
4) 必要な機能の分析③（住所別）

○道路に求める機能について、住所別にみても大きな違いは見られない。

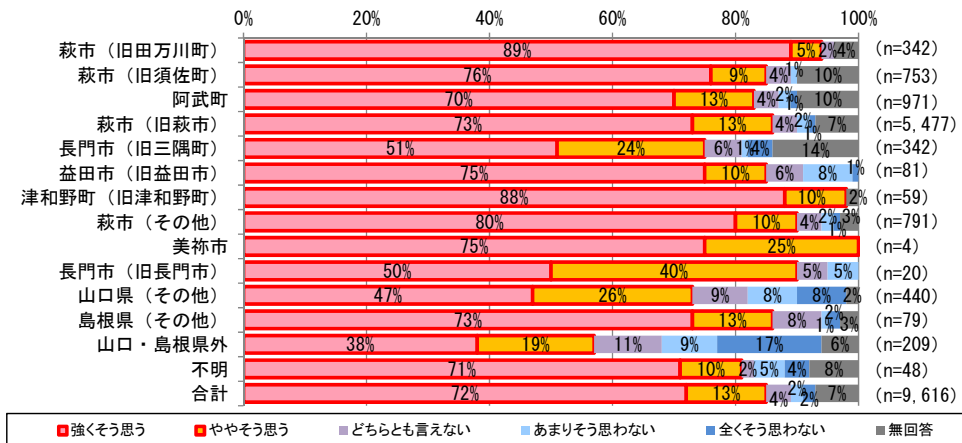
①カーブや急な坂が少なく、広い道路を快適に走行できること



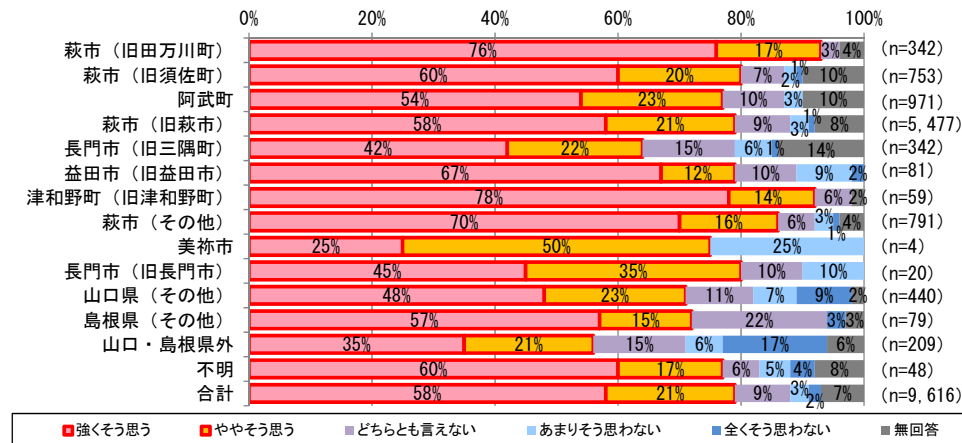
③通過交通と地域内交通が分離され、安全かつ円滑に通行できること



②災害時や異常気象時に安心・安全に通行できる代替路が確保されること



④交通事故を少なくできること

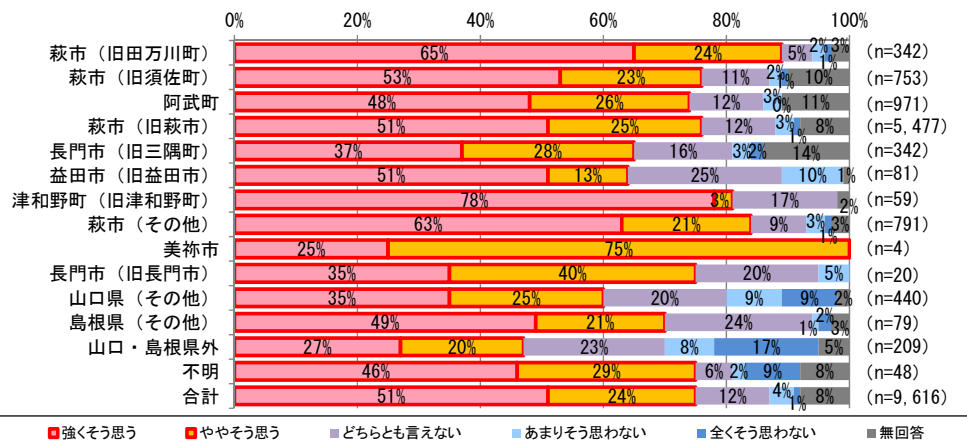


3. アンケートクロス集計結果

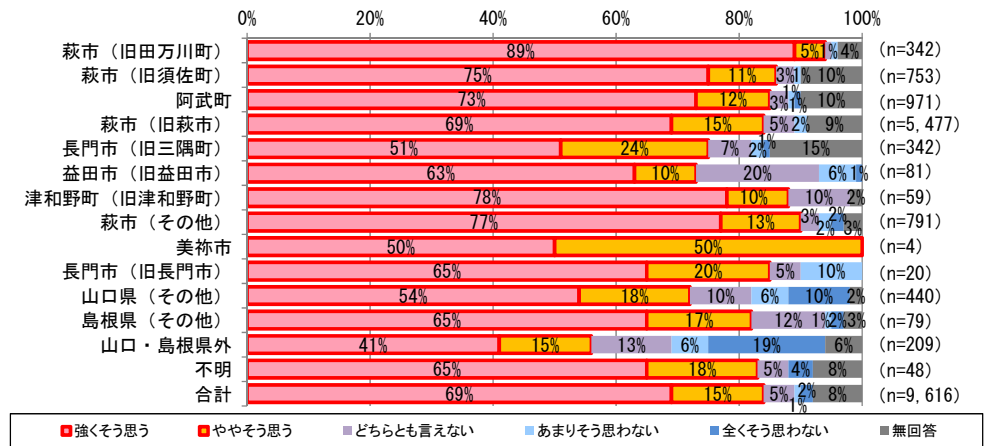
4) 必要な機能の分析③（住所別）

○道路に求める機能について、住所別にみても大きな違いは見られない。

⑤港湾や生産拠点、消費地との連絡性が良く、広域物流の効率化や円滑な物資等の輸送ができること



⑦救急病院への移動や広域的な救急搬送が円滑にできること



⑥観光や地域間交流を促進できること

